

- 問1 3世紀後半から4世紀にかけての日本列島の歴史において、大規模な古墳の築造が始まった時期の政治状況を説明した文として、最も適切なものはどれか。 (2025年 秋田県公立入試 類似)
- 『魏志』倭人伝に記されているように、九州地方を中心とした女王による統治が続いた。
 - 近畿地方の有力な豪族を中心とした、複数の勢力による政治連合が形成された。
 - 各地の小国が対等な立場で同盟を結び、銅鐸を共有する祭祀によって平和を保った。
 - 朝鮮半島から移住した渡来人が、最新の鉄器技術を背景に単独の王朝を打ち立てた。
- 問2 古墳時代から飛鳥時代にかけて、大陸からの渡来人が伝えた新しい技術によって製作されるようになった「須恵器」について、その特徴や背景を説明したものとして最も適切なものを選択してください。 (2023年 愛媛県公立入試 類似)
- 野焼きという古い技法で焼成された、赤褐色で厚手の土器である。
 - 穴窯（あながま）を用いて高温で焼成された、硬質で灰色の土器である。
 - 宋から輸入された銅銭を溶かし、金属加工の技術を応用して作られた器である。
 - 備中鍬や千歯扱きといった農具とともに、江戸時代の農業発展を支えるために開発された。
- 問3 4世紀から7世紀にかけて、近畿地方の有力な一族を中心として組織され、日本の大部分を統治した政治組織の仕組みについて述べたものとして最も適切なものはどれですか。 (2022年 茨城県公立入試 類似)
- 漢の皇帝から授けられた金印を持つ王が、中国の王朝に対して朝貢を行うことで統治した。
 - 大王（おおきみ）と呼ばれる首長を中心として、各地の有力な豪族が連合して構成された。
 - 地方の武士が幕府を開き、土地の支配権を保证することで全国の武士を統制した。
 - 貴族が摂政や関白の職を独占し、天皇に代わって政治の実権を握る体制がとられた。
- 問4 5世紀の朝鮮半島の情勢において、北部に位置する強大な高句麗が南下政策を進める中、倭（日本）と活発に交流を持ち、共同の利害関係にあった朝鮮半島南部の国々の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2026年 群馬県公立入試 類似)
- 唐・宋
 - 隋・契丹
 - 高麗・渤海
 - 百濟・新羅
- 問5 4世紀末から5世紀の山口県の古墳から出土した銅鏡の記述など、瀬戸内海の航路の要所に位置する地域から王権に関連する品々が見つかることがあります。この事実から推測される、当時のヤマト王権の地方支配のあり方として正しいものはどれですか。 (2024年 山口県公立入試 類似)
- 邪馬台国の女王卑弥呼が中国から受け取った鏡を、瀬戸内海の豪族に再分配した
 - 遣隋使を派遣するための寄港地を確保するため、山口県周辺を王権の直轄地とした
 - 海上交通の要所に位置する豪族と連携し、物流や情報のルートを確保しようとした
 - 大陸から伝来した青銅器の製造技術を、農業振興のために全国の農民へ普及させた
- 問6 埼玉県の稲荷山古墳から「大王」という称号が刻まれた鉄剣が出土した事実は、当時のヤマト政権の支配状況についてどのようなことを示していますか。最も適切な説明を選びなさい。 (2016年 高知県公立入試 類似)
- 関東地方の豪族が、中国の皇帝から日本全体の支配権を認められていたこと
 - 律令に基づいた中央集権国家が完成し、全国に役人が派遣されていたこと
 - 近畿地方を中心とする政権の勢力が、関東地方にまで及んでいたこと
 - 仏教の布教活動を通じて、全国の豪族が精神的に統一されていたこと
- 問7 5世紀、ヤマト政権の王たちは「倭の五王」として中国の南朝に相次いで使者を送りました。当時の王たちが、朝鮮半島での軍事的な立場を有利にしたり、国内の支配体制を安定させたりするために、中国の皇帝から得ようとしたものは何ですか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
- 遣隋使や遣唐使を派遣するための正式な国交
 - 仏教を正式な国教とするための許可
 - 自らの地位や権威を証明する称号
 - 律令制度を導入するための法典や教本
- 問8 法隆寺などの寺院が建立され始めた時期、日本の歴史的背景における建築物の変遷について説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2022年 岡山県公立入試 類似)
- 仏教の伝来にともない、それまで権威の象徴であった有力者の巨大な墓に代わって、寺院が建立されるようになった。
 - 狩猟採集の生活から稲作を中心とする生活へ変化したことで、共同体の食料を保管するための高床倉庫が寺院へと発展した。
 - 律令制度の確立により、すべての有力者は墓を造ることを禁止され、代わりに都へ移住することが義務付けられた。
 - キリスト教の伝来により、各地の有力者は伝統的な墓の形式を捨て、教会を模した石造りの建築物を好むようになった。
- 問9 3世紀、邪馬台国の女王である卑弥呼は、中国の魏へ使いを送り「親魏倭王」の称号を授かりました。このように、当時の倭の勢力が中国の王朝へ朝貢を行った政治的背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
- 中国皇帝の権威を背景にすることで、国内の諸勢力に対する支配力を高めるため
 - 遣唐使を停止したことによる文化的な遅れを取り戻すため
 - キリスト教の布教を阻止するために、中国からの軍事支援を取り付けるため
 - 幕府が定めた禁教政策を東アジア全域に広めるための協力を仰ぐため
- 問10 5世紀初めから約1世紀の間にわたって行われた、ヤマト王権の外交活動に関する記述として正しいものはどれですか。 (2024年 山口県公立入試 類似)
- 唐へ渡った留学生たちが、帰国後に大化の改新の政治改革を主導する役割を担った
 - 中国の魏の歴史書に、女王が金印を授かり親魏倭王の称号を得た記録が残されている
 - 小野妹子が使者として派遣され、中国の皇帝に対して対等な形式の国書を渡した
 - 中国の南朝の歴史書に、倭の五王と呼ばれる王たちが使者を送った記録が残されている
- 問11 群馬県の綿貫観音山古墳から出土した資料などに見られる、灰色で硬く焼き締められた土器の製作上の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
- 日本列島で古くから用いられてきた伝統的な技法で、野外で比較的低い温度で焼かれた
 - 稲作が普及し始めた時期に、表面に縄目の文様をつけてから乾燥させて焼かれた
 - 朝鮮半島から伝わった技術を使い、穴窯の中で酸素を制限しながら高温で焼かれた
 - 中国大陸の青銅器の影響を強く受け、表面に複雑な幾何学文様を彫り込んで焼かれた
- 問12 5世紀頃、大陸から日本へ移住した人々によって伝えられた技術のうち、それまでの赤褐色の土器とは異なり、穴窯を用いて高温で焼かれた硬い灰色の土器を何と呼びますか。 (2021年 島根県公立入試 類似)
- 土師器
 - 弥生土器
 - 須恵器
 - 縄文土器
- 問13 2019年に「百舌鳥・古市古墳群」の一部として世界文化遺産に登録された大仙陵古墳（仁徳天皇陵古墳）について、その形状と発見された遺物の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2020年 東京都公立入試 類似)
- 形状：前方後円墳、遺物：人や動物の形をした埴輪
 - 形状：前方後円墳、遺物：大陸から伝わった陶磁器の破片
 - 形状：円墳、遺物：青銅で作られた大型の銅鐸
 - 形状：方墳、遺物：死者の身分を示すための仏像

答え合わせ・解説

問1	答え 2 近畿地方の有力な豪族を中心とした、複数の勢力による政治連合が形成された。	3世紀後半から4世紀ごろになると、近畿地方の有力な豪族たちが中心となり、各地の勢力を結びつけた政治的な連合体が成立しました。これが大和政権（ヤマト王権）であり、その成立と発展は、各地に共通の形式を持つ巨大な古墳が築かれるようになったことから裏付けられます。弥生時代の小国が乱立し、争いを繰り返していた段階から、より広範な地域を統括する仕組みへと移行した重要な時期といえます。
問2	答え 2 穴窯（あながま）を用いて高温で焼成された、硬質で灰色の土器である。	須恵器は、5世紀頃（倭王が中国に使いを送っていた時期）に朝鮮半島から渡来した人々によって製作技術が伝えられました。それまでの日本で見られた、野焼きによる赤褐色の土器（縄文土器・弥生土器・土師器）とは異なり、斜面を利用した「穴窯」を使い、1000度以上の高温で蒸し焼きにする技術が用いられています。これにより、非常に硬く、水の漏れにくい灰色の仕上がりとなるのが特徴です。
問3	答え 2 大王（おおきみ）と呼ばれる首長を中心として、各地の有力な豪族が連合して構成された。	4世紀頃に近畿地方を拠点として成立した大和政権は、豪族と呼ばれる有力な一族が連合して形成された組織です。その中心には「大王（おおきみ）」と呼ばれる世襲の王が君臨し、有力な豪族たちは職務を分担して政権を支えました。この体制は、後の律令国家へと発展していく基礎となりました。
問4	答え 4 百済・新羅	5世紀の東アジアでは、朝鮮半島北部の高句麗が勢力を拡大していました。これに対抗するために、半島の南部に位置した百済や新羅は倭（日本）と結びつきを強め、軍事的な衝突や技術・文化の交流が行われました。この国際関係は、当時の倭王が中国の南朝に朝貢した理由の一つにもなっています。
問5	答え 3 海上交通の要所に位置する豪族と連携し、物流や情報のルートを確保しようとした	ヤマト王権が全国的な影響力を強めるためには、朝鮮半島や中国大陆との外交、あるいは国内の物資輸送に欠かせない海上交通路を掌握することが不可欠でした。山口県のように瀬戸内海沿岸の重要な地点を治める豪族に対し、権威の象徴である銅鏡を与えることで味方につけ、安定した航路の確保と地方への影響力行使を両立させていたと考えられます。なお、卑弥呼の時代は3世紀であり、この問題が扱う4～5世紀とは時代が異なります。
問6	答え 3 近畿地方を中心とする政権の勢力が、関東地方にまで及んでいたこと	埼玉県の稲荷山古墳から「大王」の名が記された鉄剣が見つかったことや、熊本県の江翁山古墳からも同様の銘文を持つ鉄刀が見つかったことは、ヤマト政権の政治的な影響力が九州から関東までの広い範囲に及んでいたことを証明する重要な資料となっています。これは、各地の有力な豪族がヤマト政権の支配下に組み込まれていった過程を物語っています。
問7	答え 3 自らの地位や権威を証明する称号	5世紀の朝鮮半島では高句麗が南下政策をとっており、ヤマト政権は百済や加耶（加羅）との関係を維持するために、中国の皇帝から軍事指揮権を含む官号（称号）を得る必要がありました。中国という巨大な帝国の権威を借りることで、国際的な立場を強めると同時に、日本国内の豪族たちに対する支配の正当性を主張しようとしたのが主な目的です。
問8	答え 1 仏教の伝来にともない、それまで権威の象徴であった有力者の巨大な墓に代わって、寺院が建立されるようになった。	古墳時代から飛鳥時代にかけて、支配者の権力を誇示する方法に大きな変化が生じました。大陸から伝わった仏教を政治に取り入れる動きが強まる中で、それまでの伝統的な古墳（墓）に代わり、高度な技術を用いた寺院を建立することが有力者の新たな権威の象徴となりました。法隆寺などの建立はこの歴史的な流れを反映しています。
問9	答え 1 中国皇帝の権威を背景にすることで、国内の諸勢力に対する支配力を高めるため	3世紀の日本はまだ統一国家ではなく、多くの小国が対立する状況（倭国大乱など）にありました。卑弥呼は中国の強大な王朝である「魏」から称号や金印、銅鏡などを授かることで、その権威を国内に示し、自らの統治能力や地位をより強固なものにしようとした。これは外交を利用した国内統治の強化という側面を持っています。
問10	答え 4 中国の南朝の歴史書に、倭の五王と呼ばれる王たちが使者を送った記録が残されている	5世紀、ヤマト王権は当時の中国の南朝（宋など）へ朝貢を行っていました。中国の歴史書には、讃・珍・済・興・武という5人の王が記録されており、彼らが軍事的な称号や政治的地位を求めていたことが記されています。他の選択肢は、3世紀の邪馬台国、7世紀の遣隋使、あるいは7世紀以降の遣唐使に関する内容であり、時代背景が異なります。
問11	答え 3 朝鮮半島から伝わった技術を使い、穴窯の中で酸素を制限しながら高温で焼かれた	群馬県の綿貫観音山古墳から出土したような灰色の硬質な土器は須恵器と呼ばれます。これは5世紀頃に朝鮮半島から伝来した技術で、斜面に作った穴窯を使用することで、野焼きでは不可能な1000度以上の高温状態を保って焼成されました。この製法によって粘土が焼き締まり、金属のような硬さを持つ土器が誕生しました。
問12	答え 3 須恵器	渡来人は日常生活に密着した技術も多く伝播させました。それまで日本で作られていた土器よりも高い温度で焼成する技術や、ろくろを使用する技法が伝わったことで、より実用的で耐久性の高い器が生産されるようになりました。
問13	答え 1 形状：前方後円墳、遺物：人や動物の形をした埴輪	大仙陵古墳は、円形と方形を組み合わせた日本最大の前方後円墳です。この古墳からは、円筒埴輪だけでなく、当時の衣服や武具の様子を知る手がかりとなる家・人間・動物などをかたどった「形象埴輪」が発見されています。銅鐸は主に弥生時代の祭祀に使われたものであり、仏像は後の飛鳥時代以降に本格的に伝来したものであるため、古墳時代の特徴としては埴輪が最も適切です。

- 問1 古墳時代に築かれた、円形と方形を組み合わせた鍵穴のような形状を持つ巨大な墓について、その名称と当時の状況を正しく述べたものはどれですか。 (2026年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 名称は方墳であり、ヤマト王権が全国の土地を直接支配するために、各地の役所の目印として設置した。 | 2. 名称は円墳であり、大和地方から移住した渡来人たちが、故郷の風景を再現するために全国に広めた。 | 3. 名称は前方後円墳であり、ヤマト王権の勢力が及んだ東北地方から九州地方にかけての広い範囲で見られる。 | 4. 名称は装飾古墳であり、ヤマト王権から独立した九州地方の豪族のみが、独自の文化を示すために築いた。 |
|--|---|--|---|
- 問2 古墳時代の東アジアにおける対外関係と文化の流入について、その背景と内容を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 大陸との交流は小規模な民間貿易に限られており、国家間の正式な外交や技術導入は行われていなかった。 | 2. この時期の日本は大陸から完全に孤立しており、大陸の文化が流入し始めたのは平安時代以降である。 | 3. 中国大陸の南朝とのみ交流し、朝鮮半島の高句麗や新羅とは敵対関係にあったため、半島由来の文物は存在しない。 | 4. 倭の王権は朝鮮半島の諸国や中国の王朝と交流し、馬具などの実用的な技術や高度な工芸品を取り入れていた。 |
|---|---|---|---|
- 問3 古墳時代の日本（倭）が朝鮮半島や中国大陸の諸王朝と活発に交流していたことを示す証拠について、群馬県の綿貫観音山古墳などの出土品から読み取れる共通点として最も適切なものはどれですか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 遣隋使が派遣されるまで大陸との交流は完全に途絶えており、仏教に関する文物のみが特例として見られる点 | 2. 朝鮮半島の高句麗や百濟、新羅、加耶などの地域と共通する、銅製水瓶や馬具などの文物が確認される点 | 3. 江戸時代の鎖国政策の影響により、大陸由来の文物が一切見られず、日本独自の土器のみが発達している点 | 4. 縄文時代以来の伝統である大型の磨製石斧や、日本列島固有の黒曜石製品が大量に出土する点 |
|--|--|---|---|
- 問4 埼玉県にある稲荷山古墳からは、表面に文字が刻まれた金錯銘鉄剣が出土しました。この鉄剣に刻まれている「ワカタケル大王」という人物は、当時の中国の歴史書に記されている「倭の五王」のうちの誰を指すとされていますか。 (2017年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|----------|----------|
| 1. 興（こう） | 2. 武（ぶ） | 3. 済（せい） | 4. 珍（ちん） |
|----------|---------|----------|----------|
- 問5 5世紀頃、日本の王たちが中国の皇帝に使節を送った背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 中国の皇帝から地位の承認を得ることで、朝鮮半島での軍事的な外交関係を有利に進めたり、高度な技術を導入して統治を強固にするため。 | 2. 遣唐使を廃止することで大陸との交流を制限し、日本独自の国風文化を育むとともに、律令国家の形成を早めるため。 | 3. 後漢の皇帝から「漢委奴国王」と刻まれた金印を授かり、九州北部における小国の連合を束ねる権威を確立するため。 | 4. 仏教を日本に広めるために、中国から高僧を招くとともに、寺院建築や経典などの進んだ文化を公的に導入するため。 |
|--|--|--|--|
- 問6 3世紀後半から6世紀にかけて、近畿地方だけでなく九州から東北南部までの広い範囲で、同じ「前方後円墳」という形式の古墳が作られた理由として、最も適切なものはどれか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 稲作の普及により食料が豊富になったため、農作業の休憩所として全国で同じ形が採用されたため。 | 2. 仏教の教えに基づき、円形と方形を組み合わせることで死者の供養になると信じられたため。 | 3. 中国の皇帝から、日本全土を統一するためにこの形状で墓を作るよう命じられたため。 | 4. ヤマト政権を中心とする政治的な結びつきが、各地の豪族との間に広がったため。 |
|--|---|--|--|
- 問7 5世紀の朝鮮半島の情勢において、北部に位置する強大な高句麗が南下政策を進める中、倭（日本）と活発に交流を持ち、共同の利害関係にあった朝鮮半島南部の国々の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2026年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|--------|----------|
| 1. 隋・契丹 | 2. 高麗・渤海 | 3. 唐・宋 | 4. 百濟・新羅 |
|---------|----------|--------|----------|
- 問8 5世紀、ヤマト王権の首長たちは「倭の五王」として中国の南朝へ使者を派遣し、朝貢を行いました。この外交活動の主な目的を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 朝鮮半島での軍事的な優位性や鉄資源の確保に加え、国内での政治的地位を認めてもらうため | 2. 邪馬台国の卑弥呼が魏から受けた称号と同様の権威を背景に、九州地方の豪族を支配するため | 3. 隋に対して対等な立場での外交を求め、中国の進んだ律令制度をいち早く導入するため | 4. 仏教の公伝をきっかけとして、大陸の進んだ建築技術や工芸品を組織的に輸入するため |
|---|---|--|--|
- 問9 3世紀後半から4世紀にかけての日本列島の歴史において、大規模な古墳の築造が始まった時期の政治状況を説明した文として、最も適切なものはどれか。 (2025年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 朝鮮半島から移住した渡来人が、最新の鉄器技術を背景に単独の王朝を打ち立てた。 | 2. 『魏志』倭人伝に記されているように、九州地方を中心とした女王による統治が続いた。 | 3. 各地の小国が対等な立場で同盟を結び、銅鐸を共有する祭祀によって平和を保った。 | 4. 近畿地方の有力な豪族を中心とした、複数の勢力による政治連合が形成された。 |
|---|---|---|---|
- 問10 3世紀ごろ、倭の女王である卑弥呼が使いを送った中国の国と、当時その国と勢力を争っていた国の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|-------------|--------------|---------------|
| 1. 魏 —— 呉・蜀 | 2. 秦 —— 楚・斉 | 3. 隋 —— 陳・北周 | 4. 唐 —— 吐蕃・新羅 |
|-------------|-------------|--------------|---------------|
- 問11 5世紀後半のヤマト王権の勢力範囲を知る手がかりとして、熊本県の江田船山古墳から出土した銀象嵌の銘文を持つ鉄刀があります。この鉄刀に記されている、当時の王権の中心人物を指す名称として正しいものはどれですか。 (2022年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|--------|-------------|---------|
| 1. ワカタケル大王 | 2. 卑弥呼 | 3. 志賀島の金印の主 | 4. 聖徳太子 |
|------------|--------|-------------|---------|
- 問12 古墳時代のヤマト政権における、大王と豪族の関係性や政治の仕組みについて述べたものとして、正しいものはどれですか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---|--|---|
| 1. 大王は、有力な豪族たちと連合し、彼らに従えることで政権を運営した。 | 2. 大王はすべての豪族を武力で排除し、対等な関係を持つ勢力が存在しない独裁体制を築いた。 | 3. 大王は宗教的な権威のみを持ち、実際の政治や軍事的権限はすべて豪族が握っていた。 | 4. 大王は中国の皇帝から派遣された官僚であり、豪族の意見を聞かずに政治を行った。 |
|--------------------------------------|---|--|---|
- 問13 島根県内の古墳調査において、鍵穴のような形をした古墳が存在する一方で、長方形を二つ繋ぎ合わせたような形状を持つ古墳や、単純な円形の古墳も確認されています。この「長方形を二つ繋ぎ合わせたような形状」を持つ古墳の形式として正しい名称を選びなさい。 (2025年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|--------|----------|
| 1. 前方後方墳 | 2. 双方中円墳 | 3. 八角墳 | 4. 上円下方墳 |
|----------|----------|--------|----------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 名称は前方後円墳であり、ヤマト王権の勢力が及んだ東北地方から九州地方にかけての広い範囲で見られる。	前方後円墳は、日本独自の古墳形式であり、その分布は北は東北地方から南は九州地方にまで及んでいます。これは、各地の豪族がヤマト王権を中心とする政治秩序に参加していたことを意味します。装飾古墳は内部に彩色や彫刻があるものを指し、円墳や方墳はより一般的な形状ですが、前方後円墳ほどの政治的象徴性は持ちません。また、古墳はあくまで豪族の墓であり、役所の目印ではありません。
問2	答え 4 倭の王権は朝鮮半島の諸国や中国の王朝と交流し、馬具などの実用的な技術や高度な工芸品を取り入れていた。	古墳時代の日本（倭）は、朝鮮半島の高句麗・百済・新羅・加耶、そして中国の諸王朝と政治的・経済的な結びつきを強めていました。この交流を通じて、大陸の進んだ技術や文化が日本列島へもたらされました。具体的には、乗馬の風習とともに伝えられた「馬具」や、高度な鑄造技術による「銅製水瓶」などが各地の有力者の古墳に副葬されており、これらは当時の対外関係の重要性を物語る重要な資料となっています。
問3	答え 2 朝鮮半島の高句麗や百済、新羅、加耶などの地域と共通する、銅製水瓶や馬具などの文物が確認される点	古墳時代の日本列島は、地理的に近い朝鮮半島の高句麗・百済・新羅・加耶、および中国の南朝や北朝と活発な交流を持っていました。その具体的な証拠として、群馬県の綿貫観音山古墳をはじめとする各地の古墳から、大陸や半島の影響を強く受けた「銅製水瓶」や「馬具」などの文物が共通して出土しており、当時の国際的なネットワークの広がりを示しています。
問4	答え 2 武（ぶ）	稲荷山古墳から出土した鉄剣に記された「獲加多支鹵大王（ワカタケル大王）」は、中国の歴史書『宋書』倭国伝に登場する倭王「武」と同一人物であると考えられています。武は、日本の記紀に登場する雄略天皇にあたるとされています。
問5	答え 1 中国の皇帝から地位の承認を得ることで、朝鮮半島での軍事的な外交関係を有利に進めたり、高度な技術を導入して統治を強固にするため。	5世紀の「倭の五王」は、中国の南朝へ繰り返し使節を派遣しました。当時の倭王は、朝鮮半島における軍事的な指揮権を含む称号を中国の皇帝から授かることで、国際的な地位を確立し、周辺諸国との外交を有利に進める狙いがありました。また、これに伴い鉄製武器の製造技術や須恵器などの新しい技術を大陸から導入し、国内の支配力を高めていきました。
問6	答え 4 ヤマト政権を中心とする政治的な結びつきが、各地の豪族との間に広がったため。	特定の形状（前方後円墳）が広まったことは、地方の豪族がヤマト政権の支配体制や同盟関係に組み込まれたことを示しています。古墳の形や規模を共有することで、政権内での身分や序列を明確にする役割もありました。
問7	答え 4 百済・新羅	5世紀の東アジアでは、朝鮮半島北部の高句麗が勢力を拡大していました。これに対抗するために、半島の南部に位置した百済や新羅は倭（日本）と結びつきを強め、軍事的な衝突や技術・文化の交流が行われました。この国際関係は、当時の倭王が中国の南朝に朝貢した理由の一つにもなっています。
問8	答え 1 朝鮮半島での軍事的な優位性や鉄資源の確保に加え、国内での政治的地位を認めてもらうため	5世紀のヤマト王権にとって、武器や農具の材料となる鉄資源の確保は極めて重要でした。そのため、鉄の供給源である朝鮮半島南部での軍事的な影響力を強化することや、中国の皇帝から称号を授かることで、国内の有力な豪族たちに対して自らの王権の正当性を示すことが、この外交活動の大きな目的となっていました。
問9	答え 4 近畿地方の有力な豪族を中心とした、複数の勢力による政治連合が形成された。	3世紀後半から4世紀ごろになると、近畿地方の有力な豪族たちが中心となり、各地の勢力を結びつけた政治的な連合体が成立しました。これが大和政権（ヤマト王権）であり、その成立と発展は、各地に共通の形式を持つ巨大な古墳が築かれるようになったことから裏付けられます。弥生時代の小国が乱立し、争いを繰り返していた段階から、より広範な地域を統括する仕組みへと移行した重要な時期といえます。
問10	答え 1 魏 ―― 呉・蜀	卑弥呼が使いを送った相手は、中国大陸の北部に位置した「魏」という国です。当時の中国大陸は、北部の魏、南東部の呉、南西部の蜀の三つの勢力が争っており、この複雑な国際情勢の中で、邪馬台国は魏との外交関係を築くことで自国の立場を安定させようとしていました。
問11	答え 1 ワカタケル大王	江田船山古墳から出土した鉄刀に刻まれた「ワカタケル大王」は、中国の歴史書に記された「倭王武」や、日本の『記紀』に登場する雄略天皇にあたると考えられています。この名称が刻まれた遺物が、九州（江田船山古墳）と関東（稲荷山古墳）の両方から発見されたことは、広域な支配体制の確立を裏付ける歴史的な発見となりました。
問12	答え 1 大王は、有力な豪族たちと連合し、彼らを従えることで政権を運営した。	ヤマト政権は当初、奈良盆地などの有力な勢力が結びついた「連合政権」としての性格が強いものでした。大王は、各地の豪族に「氏（うじ）」や「姓（かばね）」という地位を与える氏姓制度などを通じて、彼らを組織的に従えながら統治を進めていきました。
問13	答え 1 前方後方墳	古墳時代には、最も代表的な前方後円墳のほかに、地域や時期によって様々な形状の古墳が造られました。前方後方墳は、その名の通り前部も後部も方形（四角形）で構成されており、島根県の造山1号墳や山代二子塚古墳などがその例です。このような形状の違いは、当時の地域勢力の独自性や大和政権との関係性を反映していると考えられています。

- 問1 千葉県最大級の前方後円墳である内裏塚古墳が築造された古墳時代の中期には、大陸との交流を通じて新しい製作技術が導入されました。この時期に生産が始まった「須恵器」の特徴を説明したものと、最も適切なものはどれですか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 青銅を原料として鑄造され、祭祀の道具として用いられた釣鐘型の道具 | 2. 山の斜面などに作られた窯を使い、高温で蒸し焼きにした灰色の土器 | 3. 表面に魔除けの意味を持つ縄目の文様をつけた、厚手で黒褐色の土器 | 4. 弥生土器の流れを汲み、野焼きによって比較的低温で焼かれた赤褐色の土器 |
|-------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|
- 問2 5世紀頃、近畿地方を中心とする大和政権（ヤマト王権）の支配が各地に広がっていったことを示す資料として、大阪府にある大山古墳（仁徳天皇陵）のような巨大な前方後円墳が築かれました。こうした時期に、地方の有力者の墓から出土したもので、大和政権の王の名称が刻まれているとされる遺物はどれですか。 (2017年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------|---------------|-------------------|----------------------|
| 1. 近畿地方で多く見つかった銅鐸 | 2. 装飾が施された石包丁 | 3. 王の名称が刻まれた鉄剣や鉄刀 | 4. 漢の皇帝から授けられたとされる金印 |
|-------------------|---------------|-------------------|----------------------|
- 問3 5世紀の朝鮮半島の情勢において、北部に位置する強大な高句麗が南下政策を進める中、倭（日本）と活発に交流を持ち、共同の利害関係にあった朝鮮半島南部の国々の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2026年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|--------|---------|
| 1. 百済・新羅 | 2. 高麗・渤海 | 3. 唐・宋 | 4. 隋・契丹 |
|----------|----------|--------|---------|
- 問4 古墳時代のヤマト政権における、大王と豪族の関係性や政治の仕組みについて述べたものとして、正しいものはどれですか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--------------------------------------|--|---|
| 1. 大王はすべての豪族を武力で排除し、対等な関係を持つ勢力が存在しない独裁体制を築いた。 | 2. 大王は、有力な豪族たちと連合し、彼らを従えることで政権を運営した。 | 3. 大王は宗教的な権威のみを持ち、実際の政治や軍事の権限はすべて豪族が握っていた。 | 4. 大王は中国の皇帝から派遣された官僚であり、豪族の意見を聞かずに政治を行った。 |
|---|--------------------------------------|--|---|
- 問5 古代、朝鮮半島や中国大陆から日本列島へ移り住み、高度な技術や文化を伝えた人々は、仏教とともに漢字を日本へ伝えました。この、大陸から移住して日本列島の文化や政治に大きな影響を与えた人々を何と呼びますか。 (2026年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|-------|
| 1. 渡来人 | 2. 御家人 | 3. 遣隋使 | 4. 防人 |
|--------|--------|--------|-------|
- 問6 「大陸の王朝の力を利用して国づくりをはじめた」とされる5世紀の倭の王について、当時の国際情勢と外交方針を述べた文として正しいものはどれですか。 (2017年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--------------------------------------|---|---|
| 1. 元（モンゴル帝国）の侵攻に備えるため、高麗と協力して大陸の情報収集した | 2. 足利義満が明の皇帝から「日本国王」の称号を得て、勘合貿易を開始した | 3. 倭の王は南朝へ朝貢し、朝鮮半島南部における立場を有利にするための承認を求めた | 4. 聖徳太子が遣隋使を派遣し、中国の皇帝と対等な外交関係を築くことを目指した |
|--|--------------------------------------|---|---|
- 問7 埼玉県の稲荷山古墳から見つかった「ワカタケル大王」の銘文がある鉄剣と、熊本県の江田船山古墳から見つかった同様の銘文がある鉄刀は、5世紀後半の日本列島の政治状況についてどのようなことを物語っていますか。最も適切な説明を選んでください。 (2016年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 日本列島は各地の豪族によって完全に分割統治されており、中央集権的な組織は存在しなかったこと | 2. 関東地方と九州地方の有力な豪族が連合し、近畿地方のヤマト政権と対立していたこと | 3. 大陸との交易はすべて関東地方の豪族が独占しており、鉄器の製造技術を独占していたこと | 4. ヤマト政権の政治的な影響力が、九州から関東地方に及ぶほど広範囲に拡大していたこと |
|--|--|--|---|
- 問8 5世紀頃、大陸から日本へ移住した人々によって伝えられた技術のうち、それまでの赤褐色の土器とは異なり、穴窯を用いて高温で焼かれた硬い灰色の土器を何と呼びますか。 (2021年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|---------|--------|
| 1. 須恵器 | 2. 弥生土器 | 3. 縄文土器 | 4. 土師器 |
|--------|---------|---------|--------|
- 問9 5世紀ごろ、現在の大阪府や奈良県を中心とした勢力であるヤマト王権が、九州から関東地方に至る広い範囲に影響力を及ぼしていたことが、各地の出土品から判明しています。埼玉県にある稲荷山古墳から出土した鉄剣には、当時のヤマト王権の首長を指すどのような称号が刻まれていましたか。 (2015年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 執権 | 2. 將軍 | 3. 大王 | 4. 天皇 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問10 大仙古墳に代表されるような、非常に広大な面積を占める巨大な前方後円墳が、5世紀ごろの近畿地方を中心に築かれた歴史的な背景を述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. ヤマト政権の首長である大王が、自らの強大な権力や経済力を国内外に誇示するため。 | 2. 仏教が伝来したことで、死者を供養するための大規模な寺院建築の技術が導入されたため。 | 3. 中国の律令制度を模範とした国づくりが始まり、天皇の墓を規格化することが定められたため。 | 4. 朝鮮半島からの渡来人が、大陸での一般的な墓の形式である前方後円墳の技術を伝えたため。 |
|--|--|--|---|
- 問11 4世紀末から5世紀の山口県の古墳から出土した銅鏡の記述など、瀬戸内海の航路の要所に位置する地域から王権に関連する品々が見つかることがあります。この事実から推測される、当時のヤマト王権の地方支配のあり方として正しいものはどれですか。 (2024年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 遣隋使を派遣するための寄港地を確保するため、山口県周辺を王権の直轄地とした | 2. 邪馬台国の女王卑弥呼が中国から受け取った鏡を、瀬戸内海の豪族に再分配した | 3. 大陸から伝来した青銅器の製造技術を、農業振興のために全国の農民へ普及させた | 4. 海上交通の要所に位置する豪族と連携し、物流や情報のルートを確認しようとした |
|--|---|--|--|
- 問12 古墳時代の中期から後期にかけて、大陸から伝わった技術や思想が当時の日本に与えた影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 穴窯を用いた高温焼成による須恵器の製作や、儒教・仏教といった新しい思想が導入された。 | 2. 大陸から青銅器の製作技術が伝わり、農耕の収穫を祝うための祭りの道具として普及した。 | 3. 律令国家の仕組みを確立するため、国家の成り立ちを記した日本書紀などの歴史書が作成された。 | 4. 日本独自の文字である「かな文字」が考案され、古今和歌集のような優れた文学作品が生まれた。 |
|---|--|---|---|
- 問13 航空写真などの上空からの視点で見ると、前方部が方形（四角形）、後方部が円形をしており、全体として巨大な鍵穴のような形状をしている日本独自の古墳の名称として適切なものはどれか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|----------|-------|
| 1. 八角墳 | 2. 方墳 | 3. 前方後円墳 | 4. 円墳 |
|--------|-------|----------|-------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 山の斜面などに作られた窯を使い、高温で蒸し焼きにした灰色の土器	須恵器は、朝鮮半島から伝わった「穴窯（あながま）」という設備を使い、酸素が少ない状態で高温調理（蒸し焼き）にするため、特有の灰色になります。これに対し、同時に使われていた土師器（はじき）は、古墳時代以前からの伝統的な手法である「野焼き」で作られていたため、赤褐色をしています。
問2	答え 3 王の名称が刻まれた鉄剣や鉄刀	5世紀の大和政権の王（大王）は、支配下に入った地方の有力者に対して、その地位を認める証として名前を刻んだ刀剣などを与えました。埼玉県（稲荷山古墳）や熊本県（江田船山古墳）といった遠く離れた地域の有力者の墓から、同じ王の名が刻まれた遺物が見つかっていることは、政権の勢力が関東から九州まで及んでいたことを裏付ける重要な証拠となっています。
問3	答え 1 百済・新羅	5世紀の東アジアでは、朝鮮半島北部の高句麗が勢力を拡大していました。これに対抗するために、半島の南部に位置した百済や新羅は倭（日本）と結びつきを強め、軍事的な衝突や技術・文化の交流が行われました。この国際関係は、当時の倭王が中国の南朝に朝貢した理由の一つにもなっています。
問4	答え 2 大王は、有力な豪族たちと連合し、彼らを従えることで政権を運営した。	ヤマト政権は当初、奈良盆地などの有力な勢力が結びついた「連合政権」としての性格が強いものでした。大王は、各地の豪族に「氏（うじ）」や「姓（かばね）」という地位を与える氏姓制度などを通じて、彼らを組織的に従えながら統治を進めていきました。
問5	答え 1 渡来人	4世紀から5世紀以降、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移り住んだ人々は、土器の製作、織物、灌漑などの技術とともに、それまで日本にはなかった文字（漢字）や、精神的な教えである仏教をもたらしました。彼らはその知識や技術を活かし、古代国家の形成において重要な役割を果たしました。
問6	答え 3 倭の王は南朝へ朝貢し、朝鮮半島南部における立場を有利にするための承認を求めた	5世紀の倭の王たちは、中国の南朝に使いを送り、皇帝から「安東大將軍」などの称号を授かりました。これは中国の国際秩序の中に組み込まれることで、朝鮮半島南部での自国の影響力を正当化し、他の諸国との交渉を有利に進める狙いがありました。他の選択肢は、飛鳥時代、鎌倉時代、室町時代の出来事です。
問7	答え 4 ヤマト政権の政治的な影響力が、九州から関東地方に及ぶほど広範囲に拡大していたこと	遠く離れた埼玉県（稲荷山古墳）と熊本県（江田船山古墳）の両方から、同一の首長（ワカタケル大王）に仕えていたことを示す遺物が見つかったことは、当時のヤマト政権の権威や支配体制が、近畿地方を中心に九州から関東にまで広く浸透していたことを示しています。これは、日本列島における統一国家形成の過程を理解する上で非常に重要な事実です。
問8	答え 1 須恵器	渡来人は日常生活に密着した技術も多く伝播させました。それまで日本で作られていた土器よりも高い温度で焼成する技術や、ろくろを使用する技法が伝わったことで、より実用的で耐久性の高い器が生産されるようになりました。
問9	答え 3 大王	5世紀後半のヤマト王権（大和朝廷）の首長は「大王（おおきみ）」と呼ばれていました。埼玉県の稲荷山古墳や熊本県の江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀には、「ワカタケル大王」などの銘文が刻まれており、近畿地方を中心とするヤマト王権の支配が、既に関東から九州まで及んでいたことを示す重要な歴史的証拠となっています。
問10	答え 1 ヤマト政権の首長である大王が、自らの強大な権力や経済力を国内外に誇示するため。	古墳の大きさは、そこに葬られた人物の権力や、動員できた労働力の規模を象徴しています。三重の濠を持つほど巨大な大仙古墳のような古墳が造られたことは、ヤマト政権の首長（大王）が近畿地方の有力豪族をまとめ上げ、強力な支配体制を築いていたことを裏付けています。なお、仏教伝来や律令制度の導入は、これよりも後の時代のことです。
問11	答え 4 海上交通の要所に位置する豪族と連携し、物流や情報のルートを確保しようとした	ヤマト王権が全国的な影響力を強めるためには、朝鮮半島や中国大陸との外交、あるいは国内の物資輸送に欠かせない海上交通路を掌握することが不可欠でした。山口県のように瀬戸内海沿岸の重要な地点を治める豪族に対し、権威の象徴である銅鏡を与えることで味方につけ、安定した航路の確保と地方への影響力行使を両立させていたと考えられます。なお、卑弥呼の時代は3世紀であり、この問題が扱う4～5世紀とは時代が異なります。
問12	答え 1 穴窯を用いた高温焼成による須恵器の製作や、儒教・仏教といった新しい思想が導入された。	渡来人によってもたらされた技術は多岐にわたります。実生活では、灰色の硬い土器である「須恵器」が作られるようになり、精神面や政治面では、国家の統治原理にもつながる「儒教」や、後に鎮護国家の思想へと発展する「仏教」が伝えられました。他の選択肢にある「かな文字」や「古今和歌集」は平安時代、「青銅器の祭祀化」は主に弥生時代、「日本書紀」の完成は奈良時代の出来事であり、時期や内容が異なります。
問13	答え 3 前方後円墳	3世紀後半から6世紀にかけて、ヤマト政権の勢力下にあった地域で築かれた日本独自の形式です。大阪府の大仙古墳（伝仁徳天皇陵）に代表されるように、大規模なものは当時の有力者の権力を象徴しています。

- 問1 4世紀から7世紀頃にかけて、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移住し、漢字や儒教、仏教などの大陸文化や、優れた製作技術を伝えた人々を何と呼びますか。 (2021年 鳥根県公立入試 類似)
1. 渡来人 2. 遣隋使 3. 御家人 4. 防人
- 問2 世界文化遺産にも登録されている、大阪府の「百舌鳥・古市古墳群」について述べた文として、正しいものはどれか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
1. すべて直径10メートル程度の小さな円墳のみで構成された、庶民のための墓地群である。 2. 仏教が伝来した後に、聖徳太子の命令によって各地の寺院の隣に作られたものである。 3. 日本最大の面積を誇る大仙古墳（大山古墳）など、巨大な前方後円墳が含まれている。 4. 東北地方から九州地方にかけての全国各地から、有力な豪族の遺骨を集めて埋葬した場所である。
- 問3 中国の歴史書『宋書』倭国伝には、5世紀に中国の南朝へ相次いで使者を送り、自身の地位を認める称号を求めた「讃・珍・済・興・武」という5人の王が登場します。これらの王を総称して何と呼びますか。 (2025年 埼玉県公立入試 類似)
1. 遣隋使 2. 倭の五王 3. ヤマトの大王 4. 渡来人
- 問4 5世紀の朝鮮半島にある伽耶（加羅）地域から大和政権が得ていた資源で、武人の埴輪に見られるような鎧や武器の材料となり、政権の武力強化に大きく貢献した金属は何ですか。 (2019年 群馬県公立入試 類似)
1. 金 2. 鉄 3. 青銅 4. 銅
- 問5 紀元1世紀から17世紀までの東アジアにおける日本の対外関係をまとめた年表において、最も古い時期に記される「後漢への朝貢」に関連する問いです。当時の倭の奴国の王が中国の皇帝から授かったとされる、現在の福岡県志賀島で出土した品物はどれですか。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
1. 「親魏倭王」と刻まれた金印 2. 「日出処天子」と記された国書 3. 「漢委奴国王」と刻まれた金印 4. 勘合貿易で用いられた割符
- 問6 5世紀頃、大阪府堺市に築かれた大仙古墳（大仙陵古墳）のような巨大な前方後円墳が造られた歴史的な背景を説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。 (2018年 熊本県公立入試 類似)
1. 律令制度が確立し、戸籍に基づいて全国の民衆が大規模な土木作業に動員できるようになった。 2. 稲作が普及し、食料を貯蔵するための大規模な高床倉庫と一体化した墓が求められた。 3. 「大王」と呼ばれる首長を中心とした大和政権（ヤマト王権）の権力が強大化した。 4. 仏教の伝来とともに寺院建築の技術が導入され、それが大規模な墳墓の造成に利用された。
- 問7 3世紀後半から6世紀にかけて、近畿地方だけでなく九州から東北部までの広い範囲で、同じ「前方後円墳」という形式の古墳が作られた理由として、最も適切なものはどれか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
1. 中国の皇帝から、日本全土を統一するためにこの形状で墓を作るよう命じられたため。 2. ヤマト政権を中心とする政治的な結びつきが、各地の豪族との間に広がったため。 3. 仏教の教えに基づき、円形と方形を組み合わせることで死者の供養になると信じられたため。 4. 稲作の普及により食料が豊富になったため、農作業の休憩所として全国で同じ形が採用されたため。
- 問8 古墳時代中期（5世紀後半）におけるヤマト政権（大和政権）の勢力圏の広がりを説明する記述として、最も正しいものはどれですか。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)
1. 関東地方の稲荷山古墳と九州地方の江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀に共通の王の名が見られることから、支配が九州から関東まで及んでいたと判断できる。 2. 近畿地方を中心に巨大な前方後円墳が作られ始めたことから、この時期にはすでに東北地方まで完全に統一されていたと判断できる。 3. 仏教を政治に取り入れた聖徳太子が、全国に国分寺を建てることで、九州から関東までの地方組織を直接支配していたことがわかる。 4. 『魏志』倭人伝に記された女王の朝貢記録により、中国から認められた政権が全国の地方豪族を完全に服従させていたことがわかる。
- 問9 埼玉県の稲荷山古墳から「大王」という称号が刻まれた鉄剣が出土した事実は、当時のヤマト政権の支配状況についてどのようなことを示していますか。最も適切な説明を選びなさい。 (2016年 高知県公立入試 類似)
1. 関東地方の豪族が、中国の皇帝から日本全体の支配権を認められていたこと 2. 近畿地方を中心とする政権の勢力が、関東地方にまで及んでいたこと 3. 仏教の布教活動を通じて、全国の豪族が精神的に統一されていたこと 4. 律令に基づいた中央集権国家が完成し、全国に役人が派遣されていたこと
- 問10 古墳時代に、大山古墳（仁徳天皇陵）のような巨大な前方後円墳が築造された歴史的な背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
1. 大和政権（ヤマト王権）の王が、自らの強大な権威や動員できる労働力の大きさを各地の豪族に誇示するため。 2. 大陸から伝来した仏教の教えに基づき、故人を盛大に供養することで国家の安寧を祈願するため。 3. 海外からの侵略を監視し、防衛するための軍事的な物見櫓や要塞として機能させるため。 4. 大規模な稲作の普及により余った土地を、洪水から守るための避難場所として整備するため。
- 問11 4世紀ごろから大和政権と密接な関係を築き、朝鮮半島の南西部に位置していた国を何といいますか。この国は、五経博士による儒教の伝達や、日本への仏教伝など、大陸文化を日本へ伝える窓口としての役割を果たしました。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
1. 高句麗 2. 百濟 3. 魏 4. 新羅
- 問12 世界文化遺産に登録された百舌鳥・古市古墳群に含まれ、5世紀頃に築造された日本最大の前方後円墳として知られる、当時のヤマト政権の強大な勢力を象徴する古墳はどれか。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)
1. 稲荷山古墳 2. 高松塚古墳 3. 箸墓古墳 4. 大仙古墳（伝仁徳天皇陵）
- 問13 5世紀頃に現在の大阪府堺市などに造られた大仙古墳のような巨大な前方後円墳について、当時の社会背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 茨城県公立入試 類似)
1. 大和政権（ヤマト王権）の大王が、膨大な労働力を動員できる強力な支配権を及ぼしていた。 2. 渡来人がもたらした仏教の教えを広めるための寺院として機能していた。 3. 稲作の豊作を祈るために、特定の支配者を持たない集落の人々が共同で管理する祭祀場であった。 4. 東北地方から九州地方まで、各地域の有力な豪族が中央政権から完全に独立して統治していた。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 渡来人	朝鮮半島での動乱などを背景に、優れた技術や知識を持つ人々が日本列島へ渡ってきました。彼らは大和政権に仕え、文字（漢字）の記録や外交、土木技術、金属工芸などの分野で重要な役割を果たし、日本の古代国家形成に大きな影響を与えました。
問2	答え 3 日本最大の面積を誇る大仙古墳（大山古墳）など、巨大な前方後円墳が含まれている。	百舌鳥・古市古墳群は、現在の大阪府堺市、羽曳野市、藤井寺市に広がる古墳群です。4世紀後半から5世紀後半にかけて、当時の王権（ヤマト政権）の王たちの墓として築かれました。
問3	答え 2 倭の五王	5世紀に中国へ使者を送った5人の王は「倭の五王」と呼ばれます。当時の日本（倭国）は、東アジアの国際情勢の中で有利な立場を得るため、中国皇帝を中心とした冊封体制（朝貢外交）に加わり、自らの権威や軍事的な指揮権を証明する称号（官職）を求めて外交を展開しました。
問4	答え 2 鉄	大和政権は、朝鮮半島の南部に位置する伽耶（加羅）地域から鉄資源を安定的に確保し、それを用いて高度な武器や鎧を製造しました。当時の古墳から出土する武人の埴輪が鎧をまとっていることから、この金属が軍事力の象徴であったことがわかります。これにより、政権は軍事的な優位を築きました。
問5	答え 3 「漢委奴国王」と刻まれた金印	紀元1世紀（西暦57年）、倭の奴国の王は中国の後漢へ使者を送り、光武帝から金印を授けられました。これは、当時の日本の小国が中国の皇帝に朝貢することで、自らの支配の正当性を認めさせようとした初期の事例です。この金印には「漢委奴国王」と刻まれており、江戸時代に志賀島で発見されました。
問6	答え 3 「大王」と呼ばれる首長を中心とした大和政権（ヤマト王権）の権力が強大化した。	巨大な古墳の築造には、膨大な労働力と長い年月が必要です。大仙古墳のような大規模な墳墓は、近畿地方の有力な豪族を中心としたヤマト王権が、広範囲の民衆を動員し、多くの資材を集中させることができるほどの強力な政治支配力を確立していたことを裏付けています。
問7	答え 2 ヤマト政権を中心とする政治的な結びつきが、各地の豪族との間に広がったため。	特定の形状（前方後円墳）が広まったことは、地方の豪族がヤマト政権の支配体制や同盟関係に組み込まれたことを示しています。古墳の形や規模を共有することで、政権内での身分や序列を明確にする役割もありました。
問8	答え 1 関東地方の稲荷山古墳と九州地方の江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀に共通の王の名が見られることから、支配が九州から関東まで及んでいたと判断できる。	ヤマト政権の支配範囲が拡大したことを示す考古学的な証拠は、文字が刻まれた金属器の出土です。埼玉県の稲荷山古墳から出土した金錯銘鉄剣（きんさくめいてつけん）と、熊本県の江田船山古墳から出土した銀象嵌銘大刀（ぎんぞうがんめいたち）には、ともに「ワカタケル大王」という名が刻まれていました。これは、地方の有力者がヤマト政権の大王に仕えていたことを示しており、当時の政権の勢力が九州から関東まで及んでいた確かな根拠となります。
問9	答え 2 近畿地方を中心とする政権の勢力が、関東地方にまで及んでいたこと	埼玉県の稲荷山古墳から「大王」の名が記された鉄剣が見つかったことや、熊本県の江翁山古墳からも同様の銘文を持つ鉄刀が見つかったことは、ヤマト政権の政治的な影響力が九州から関東までの広い範囲に及んでいたことを証明する重要な資料となっています。これは、各地の有力な豪族がヤマト政権の支配下に組み込まれていった過程を物語っています。
問10	答え 1 大和政権（ヤマト王権）の王が、自らの強大な権威や動員できる労働力の大きさを各地の豪族に誇示するため。	古墳時代において、巨大な前方後円墳を築くには膨大な年月と膨大な人数の労働力が必要でした。このような大規模な土木工事を行うことができた事実は、その被葬者が広範囲に及ぶ支配権と財力を持っていたことを象徴しています。また、前方後円墳という特定の形式が日本各地に広がったことは、大和政権（ヤマト王権）を中心とした政治的な連合や身分秩序が各地の豪族との間に形成されていたことを示しています。
問11	答え 2 百済	朝鮮半島の南西部に位置した百済は、半島の主導権争いの中で大和政権と友好関係を深めました。この交流を通じて、漢字、儒教、仏教といった高度な大陸文化が日本に導入され、日本の古代国家の形成に大きな影響を与えました。
問12	答え 4 大仙古墳（伝仁徳天皇陵）	大阪府にある大仙古墳は、5世紀のヤマト政権の最盛期に築かれた日本最大の古墳です。これほど巨大な墳墓を築造できたことは、当時の政権が朝鮮半島から確保した鉄製工具を用い、大規模な土木作業を指揮できるほどの強大な権力を持っていたことを物語っています。
問13	答え 1 大和政権（ヤマト王権）の大王が、膨大な労働力を動員できる強力な支配権を及ぼしていた。	近畿地方にある大仙古墳のような巨大な墳墓の築造には、極めて多くの人手と長い年月が必要でした。このような大規模な土木工事が可能であったことは、当時の大王が広い範囲にわたって人々を支配し、動員できるほど強力な権力を持っていたことを示しています。

- 問1 航空写真などの上空からの視点で見ると、前方部が方形（四角形）、後方部が円形をしており、全体として巨大な鍵穴のような形状をしている日本独自の古墳の名称として適切なものはどれか。（2020年 佐賀県公立入試 類似）
1. 八角墳 2. 円墳 3. 前方後円墳 4. 方墳
- 問2 5世紀の古墳から出土する、甲冑（よろい・かぶと）を身にまとい、背中に矢を背負った武人の姿を模した土製品について、当時の社会状況を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。（2026年 群馬県公立入試 類似）
1. 人物埴輪と呼ばれ、当時の緊迫した東アジア情勢を反映した軍事文化を伝えている 2. 七支刀と呼ばれ、百済の王から贈られた最新の鉄製武器の威力を示している 3. 唐から伝来した仏教儀礼に基づき、寺院の門に配置される守護神を表している 4. 弥生土器と呼ばれ、大陸から伝わった金属器の使用方法を儀礼的に示している
- 問3 4世紀から7世紀頃にかけて、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移住し、鉄器の製作、須恵器の生産、さらには漢字や仏教などの高度な技術や文化を伝えた人々を何と呼ぶか、最も適切なものを選びなさい。（2017年 徳島県公立入試 類似）
1. 遣唐使 2. 防人 3. 弥生人 4. 渡来人
- 問4 古墳時代の中期から後期にかけて、大陸から伝わった技術や思想が当時の日本に与えた影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2015年 千葉県公立入試 類似）
1. 日本独自の文字である「かな文字」が考案され、古今和歌集のような優れた文学作品が生まれた。 2. 穴窯を用いた高温焼成による須恵器の製作や、儒教・仏教といった新しい思想が導入された。 3. 律令国家の仕組みを確立するため、国家の成り立ちを記した日本書紀などの歴史書が作成された。 4. 大陸から青銅器の製作技術が伝わり、農耕の収穫を祝うための祭りの道具として普及した。
- 問5 法隆寺などの寺院が建立され始めた時期、日本の歴史的背景における建築物の変遷について説明した文として最も適切なものはどれですか。（2022年 岡山県公立入試 類似）
1. 律令制度の確立により、すべての有力者は墓を造ることを禁止され、代わりに都へ移住することが義務付けられた。 2. 仏教の伝来にともない、それまで権威の象徴であった有力者の巨大な墓に代わって、寺院が建立されるようになった。 3. キリスト教の伝来により、各地の有力者は伝統的な墓の形式を捨て、教会を模した石造りの建築物を好むようになった。 4. 狩猟採集の生活から稲作を中心とする生活へ変化したことで、共同体の食料を保管するための高床倉庫が寺院へと発展した。
- 問6 4世紀から5世紀にかけて、朝鮮半島などから日本列島へ移り住み、漢字や儒教、さらには須恵器の製作技術や鉄器の製造といった高度な文化や技術を伝えた人々を何と呼びますか。（2021年 千葉県公立入試 類似）
1. 遣唐使 2. 部民 3. 渡来人 4. 防人
- 問7 古墳時代の東アジアにおける対外関係と文化の流入について、その背景と内容を説明したものとして正しいものはどれですか。（2021年 群馬県公立入試 類似）
1. この時期の日本は大陸から完全に孤立しており、大陸の文化が流入し始めたのは平安時代以降である。 2. 大陸との交流は小規模な民間貿易に限られており、国家間の正式な外交や技術導入は行われていなかった。 3. 倭の王権は朝鮮半島の諸国や中国の王朝と交流し、馬具などの実用的な技術や高度な工芸品を取り入れていた。 4. 中国大陸の南朝とのみ交流し、朝鮮半島の高句麗や新羅とは敵対関係にあったため、半島由来の文物は存在しない。
- 問8 大阪府堺市に位置する、全長約486mにおよぶ日本最大の前方後円墳の名称として正しいものを、次の中から選びなさい。（2018年 熊本県公立入試 類似）
1. 三内丸山遺跡 2. 登呂遺跡 3. 大仙古墳 4. 吉野ヶ里遺跡
- 問9 5世紀頃、大和政権の王（倭の五王）が中国の南朝へ繰り返し使者を送った主な目的として、最も適切な説明はどれか。（2020年 香川県公立入試 類似）
1. 隋に対して対等な立場での外交を求め、小野妹子を派遣して中国の進んだ律令制度を学ぶため。 2. 唐の勢力拡大に対抗するため、朝鮮半島の百済や新羅と結んで軍事同盟を強化するため。 3. 中国の北朝から公式に仏教を取り入れることで、鎮護国家の思想に基づいた国づくりを行うため。 4. 朝鮮半島南部における軍事的な指揮権を認めさせ、鉄資源の確保などの面で他国より優位に立つため。
- 問10 埼玉県にある稲荷山古墳から出土した鉄剣には「獲加多支鹵大王」という称号が刻まれています。これと同様の称号が記された鉄刀が熊本県の江田船山古墳からも出土していることから推測できる、5世紀後半の日本の政治状況として最も適切な説明を選んでください。（2021年 大阪府公立入試 類似）
1. 大和政権（ヤマト王権）の支配力が、関東から九州におよぶ広い範囲に広がっていた。 2. 邪馬台国の卑弥呼による統治が、近畿地方を中心に安定していた。 3. 東北地方から九州地方まで、完全に統一された律令国家が成立していた。 4. 各地域の豪族が独自の王号を名乗り、中国の王朝と直接外交を行っていた。
- 問11 大阪府堺市に位置する大仙古墳（仁徳天皇陵古墳）が属しており、周辺の古墳とともに2019年に世界文化遺産に登録された古墳群の名称として正しいものはどれか。（2020年 三重県公立入試 類似）
1. 吉野ヶ里遺跡群 2. 登呂遺跡群 3. 百舌鳥・古市古墳群 4. 三内丸山遺跡群
- 問12 5世紀前半に近畿地方を中心として大型の前方後円墳が建設され、5世紀後半には九州の熊本県江田船山古墳と関東の埼玉県稲荷山古墳の双方から同じ大王の名が刻まれた鉄剣・鉄刀が出土しました。この歴史的出来事から読み取れる内容として最も適切なものを、次の選択肢の中から1つ選びなさい。（2025年 宮崎県公立入試 類似）
1. 邪馬台国の女王が中国の魏に使いを送り自らの支配権を認めさせたこと 2. 近畿地方を中心とする王権の勢力が九州から関東にまで拡大していたこと 3. 九州地方の首長が独力で関東地方まで直接支配していたこと 4. 東日本を中心に前方後円墳が造られ政治的統一が完成したこと
- 問13 5世紀後半のものとされる埼玉県稲荷山古墳出土の鉄剣や、熊本県江田船山古墳出土の鉄刀には、「ワカタケル大王」という名が刻まれています。この事実から推測される当時のヤマト政権の様子について、最も適切な説明はどれですか。（2026年 和歌山県公立入試 類似）
1. 大王の支配力が、関東地方から九州北部まで広範囲に及んでいた。 2. 大王の地位は固定されておらず、各地の豪族が交代でその任に就いていた。 3. 大王は奈良盆地周辺のみを治める、限定的な勢力に留まっていた。 4. 各地の豪族が大王の許可なく、独自に大陸と外交を行っていた。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 前方後円墳	3世紀後半から6世紀にかけて、ヤマト政権の勢力下にあった地域で築かれた日本独自の形式です。大阪府の大仙古墳（伝仁徳天皇陵）に代表されるように、大規模なものは当時の有力者の権力を象徴しています。
問2	答え 1 人物埴輪と呼ばれ、当時の緊迫した東アジア情勢を反映した軍事文化を伝えている	古墳時代中期にあたる5世紀には、高句麗の南下による朝鮮半島の緊張状態が倭（日本）にも波及していました。古墳に副葬された武人などの人物埴輪は、当時の武器の構造を正確に伝えており、埋葬された豪族の軍事的な権威を誇示したり、死者の霊を守ったりする目的があったと考えられています。
問3	答え 4 渡来人	4世紀以降、大陸での戦乱などを背景に、朝鮮半島や中国大陸から優れた技術や知識を持つ人々が日本列島へ移り住みました。彼らは金属加工や土木技術、機織りなどの実用的な技術だけでなく、漢字や儒教、仏教といった学問・宗教も伝え、古代日本の文化や政治の発展に大きな役割を果たしました。
問4	答え 2 穴窯を用いた高温焼成による須恵器の製作や、儒教・仏教といった新しい思想が導入された。	渡来人によってもたらされた技術は多岐にわたります。実生活では、灰色の硬い土器である「須恵器」が作られるようになり、精神面や政治面では、国家の統治原理にもつながる「儒教」や、後に鎮護国家の思想へと発展する「仏教」が伝えられました。他の選択肢にある「かな文字」や「古今和歌集」は平安時代、「青銅器の祭器化」は主に弥生時代、「日本書紀」の完成は奈良時代の出来事であり、時期や内容が異なります。
問5	答え 2 仏教の伝来にともない、それまで権威の象徴であった有力者の巨大な墓に代わって、寺院が建立されるようになった。	古墳時代から飛鳥時代にかけて、支配者の権力を誇示する方法に大きな変化が生じました。大陸から伝わった仏教を政治に取り入れる動きが強まる中で、それまでの伝統的な古墳（墓）に代わり、高度な技術を用いた寺院を建立することが有力者の新たな権威の象徴となりました。法隆寺などの建立はこの歴史的な流れを反映しています。
問6	答え 3 渡来人	朝鮮半島における戦乱や政治的変動を背景に、日本列島へ移り住んだ人々を指します。彼らがもたらした漢字は記録手段として、儒教は政治理念として、また須恵器や鉄器の製作技術は人々の生活や軍事を向上させる大きな力となりました。ヤマト王権はこれらの人々を組織に組み込むことで、国家の基盤を固めていきました。
問7	答え 3 倭の王権は朝鮮半島の諸国や中国の王朝と交流し、馬具などの実用的な技術や高度な工芸品を取り入れていた。	古墳時代の日本（倭）は、朝鮮半島の高句麗・百済・新羅・加耶、そして中国の諸王朝と政治的・経済的な結びつきを強めていました。この交流を通じて、大陸の進んだ技術や文化が日本列島へもたらされました。具体的には、乗馬の風習とともに伝えられた「馬具」や、高度な鑄造技術による「銅製水瓶」などが各地の有力者の古墳に副葬されており、これらは当時の対外関係の重要性を物語る重要な資料となっています。
問8	答え 3 大仙古墳	5世紀頃に築造されたこの墳墓は、当時の近畿地方を中心とした勢力のリーダーである「大王（おおきみ）」の墓と考えられています。前方後円墳とは、円形と方形を組み合わせた日本独自の形状を持つ古墳であり、百舌鳥古墳群の中でも最大の規模を誇ります。
問9	答え 4 朝鮮半島南部における軍事的な指揮権を認めさせ、鉄資源の確保などの面で他国より優位に立つため。	5世紀の大和政権は、国内での支配力を強めるとともに、大陸から伝来する鉄資源を安定して確保しようとしていました。そのために中国の南朝（宋など）へ朝貢を行い、朝鮮半島南部における軍事的な指揮権や政治的な地位を正式に認めさせることで、周辺諸国に対して有利な立場を得ようとした背景があります。
問10	答え 1 大和政権（ヤマト王権）の支配力が、関東から九州におよぶ広い範囲に広がっていた。	遠く離れた埼玉県の稲荷山古墳と熊本県の江田船山古墳の両方から、同一の大王（ワカタケル大王）の名を記した遺物が出土したことは、その大王を中心とする大和政権の権威や支配力が、すでに関東から九州まで広範に及んでいたことを裏付ける有力な証拠となっています。
問11	答え 3 百舌鳥・古市古墳群	大仙古墳は、大阪府堺市の「百舌鳥（もず）古墳群」を代表する古墳です。隣接する羽曳野市・藤井寺市の「古市（ふるいち）古墳群」とともに、古代日本の国家形成過程や階層社会を象徴する物証として評価され、「百舌鳥・古市古墳群—古代日本の墳墓群—」として世界文化遺産に登録されました。
問12	答え 2 近畿地方を中心とする王権の勢力が九州から関東にまで拡大していたこと	近畿地方の大型前方後円墳の存在に加え、遠く離れた熊本県と埼玉県から同一の大王（ワカタケル大王）の名を刻んだ鉄剣が出土したことは、近畿を中心とするヤマト王権の勢力範囲が九州から関東まで広がっていたことを物語っています。
問13	答え 1 大王の支配力が、関東地方から九州北部まで広範囲に及んでいた。	遠く離れた埼玉と熊本の両地域から同じ大王の名が記された遺物が出土したことは、5世紀後半までにヤマト政権の勢力（大王の権威）が関東から九州北部にまで拡大し、各地の豪族を服属させていたことを裏付ける重要な証拠となっています。

- 問1 古墳時代、各地の有力者が巨大な墓を造りました。その中でも、上から見ると鍵穴のような独特の形（一方が四角形で、もう一方が円形）をした、日本独自の形式の古墳を何と呼びますか。（2021年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|-------|----------|-------|
| 1. 装飾古墳 | 2. 方墳 | 3. 前方後円墳 | 4. 円墳 |
|---------|-------|----------|-------|
- 問2 3世紀ごろの中国大陸では、複数の勢力が対立して覇権を争っていました。この時期、日本の邪馬台国の女王である卑弥呼が使いを送り、「親魏倭王」の称号を授かったとされる国が含まれる時代の名称を選びなさい。（2016年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|-----------|----------|
| 1. 戦国時代 | 2. 三国時代 | 3. 五代十国時代 | 4. 南北朝時代 |
|---------|---------|-----------|----------|
- 問3 巨大な前方後円墳が各地で盛んに造られていた古墳時代の5世紀ごろ、ヤマト王権の王たちは、自らの地位を国際的に認めさせるために中国の王朝へ使節を送りました。このとき、倭の五王が朝鮮半島での軍事的な指揮権などを認めてもらうために交渉を行った相手は、当時の中国のどの勢力ですか。（2024年 栃木県公立入試 類似）
- | | | | |
|------|------|----------|------|
| 1. 唐 | 2. 漢 | 3. 中国の南朝 | 4. 隋 |
|------|------|----------|------|
- 問4 古墳時代、朝鮮半島や中国から日本列島へ移り住んだ渡来人によって伝えられたもので、日本における記録や公文書作成の基礎となった文字を次の中から選びなさい。（2019年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|-------|---------|
| 1. ひらがな | 2. ローマ字 | 3. 漢字 | 4. カタカナ |
|---------|---------|-------|---------|
- 問5 古墳時代に築かれた、円形と方形を組み合わせた鍵穴のような形状を持つ巨大な墓について、その名称と当時の状況を正しく述べたものはどれですか。（2026年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 名称は装飾古墳であり、ヤマト王権から独立した九州地方の豪族のみが、独自の文化を示すために築いた。 | 2. 名称は方墳であり、ヤマト王権が全国の土地を直接支配するために、各地の役所の目印として設置した。 | 3. 名称は前方後円墳であり、ヤマト王権の勢力が及んだ東北地方から九州地方にかけての広い範囲で見られる。 | 4. 名称は円墳であり、大和地方から移住した渡来人たちが、故郷の風景を再現するために全国に広めた。 |
|---|--|--|---|
- 問6 4世紀から6世紀にかけて朝鮮半島などから日本列島へ移り住み、漢字や儒教、仏教のほか、機織り、土木、金属加工といった大陸の進んだ技術を伝えた人々を何と呼ぶか、最も適切なものを選びなさい。（2024年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|-------|
| 1. 遣隋使 | 2. 渡来人 | 3. 御家人 | 4. 防人 |
|--------|--------|--------|-------|
- 問7 大阪府堺市に位置する大山古墳（仁徳天皇陵）について、その特徴を地形図から読み取った場合の説明として最も適切なものはどれですか。（2023年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 長方形の墳丘が二重の濠に囲まれ、周囲に倍塚と呼ばれる小規模な円墳が直線状に並んでいる。 | 2. 正方形の墳丘が三重の石垣によって囲まれ、その中心部に巨大な石室が露出している。 | 3. 円形の後円部と方形の前方部を組み合わせた鍵穴のような形状の墳丘が、三重の濠に囲まれて配置されている。 | 4. 円形の墳丘が等高線によって示され、周囲には濠がなく、標高の高い山地の中に独立して築造されている。 |
|--|--|---|---|
- 問8 大和政権が朝鮮半島や中国大陸から移り住んだ人々を厚遇し、積極的に組織へ組み込んだ理由として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 新潟県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 大陸の優れた土木技術、金属加工、文字の知識などを取り入れ、政権の支配力を強めるため | 2. 地方の豪族が持っていた鉄器の製造技術を独占し、天皇の権威を否定させるため | 3. 遣唐使を派遣する代わりに、大陸の役人を招いて日本の政治制度をすべて中国風に改めるため | 4. 狩猟採集中心の生活から、初めて稲作を中心とする社会へと移行させる必要があったため |
|--|---|---|---|
- 問9 古墳時代中期（5世紀後半）におけるヤマト政権（大和政権）の勢力圏の広がりを説明する記述として、最も正しいものはどれですか。（2020年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 関東地方の稲荷山古墳と九州地方の江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀に共通の王の名が見られることから、支配が九州から関東まで及んでいたと判断できる。 | 2. 仏教を政治に取り入れた聖徳太子が、全国に国分寺を建てることで、九州から関東までの地方組織を直接支配していたことがわかる。 | 3. 『魏志』倭人伝に記された女王の朝貢記録により、中国から認められた政権が全国の地方豪族を完全に服従させていたことがわかる。 | 4. 近畿地方を中心に巨大な前方後円墳が作られ始めたことから、この時期にはすでに東北地方まで完全に統一されていたと判断できる。 |
|--|---|---|---|
- 問10 熊本県の江田船山古墳から出土した鉄刀と、埼玉県の稲荷山古墳から出土した鉄剣には、いずれも「ワカタケル大王」の名が刻まれていました。この事実から推測される、5世紀ごろの大和政権の勢力範囲に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。（2014年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 大和政権の勢力は、大陸の影響を強く受けていた九州地方のみに限定されていた。 | 2. 大和政権の勢力は、近畿地方とその周辺の非常に狭い範囲に限定されていた。 | 3. 大和政権の勢力は、東北地方から九州南部に至る日本列島のほぼ全域を支配していた。 | 4. 大和政権の勢力は、九州北部から関東地方南部におよぶ広い範囲に広がっていた。 |
|--|--|--|--|
- 問11 古墳時代に朝鮮半島から渡来人が渡ってきた時期の文化についての説明として、渡来人が伝えた土器の特徴を表しているものはどれですか。（2025年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------------------|----------------------|------------------------|-------------------------|
| 1. 高温で焼かれた、かたくて灰色の須恵器 | 2. 薄手でかたく、赤褐色をした弥生土器 | 3. 低温で焼かれた、あつ手で褐色の縄文土器 | 4. 表面に縄目の文様がつけられた深鉢形の土器 |
|-----------------------|----------------------|------------------------|-------------------------|
- 問12 3世紀後半から4世紀にかけての日本列島の歴史において、大規模な古墳の築造が始まった時期の政治状況を説明した文として、最も適切なものはどれか。（2025年 秋田県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 各地の小国が対等な立場で同盟を結び、銅鐸を共有する祭祀によって平和を保った。 | 2. 朝鮮半島から移住した渡来人が、最新の鉄器技術を背景に単独の王朝を打ち立てた。 | 3. 『魏志』倭人伝に記されているように、九州地方を中心とした女王による統治が続いた。 | 4. 近畿地方の有力な豪族を中心とした、複数の勢力による政治連合が形成された。 |
|---|---|---|---|
- 問13 5世紀、ヤマト王権の「倭の五王」は中国の南朝（宋など）に繰り返し使者を送りました。中国側の歴史書『宋書』倭国伝に記されている、彼らが朝貢を通じて中国皇帝に認めてもらおうとした地位や権限とはどのようなものですか。（2025年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------------------------------|------------------------------|----------------------------------|-----------------------|
| 1. 鎖国体制を維持するために、他国との国交を断絶する公式な許可 | 2. 明との間で勘合を用いた貿易を行うための独占的な権利 | 3. 日本国内の支配権に加え、朝鮮半島南部における軍事的な指揮権 | 4. 遣隋使の派遣を永続的に免除される特権 |
|----------------------------------|------------------------------|----------------------------------|-----------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 前方後円墳	3世紀後半から6世紀頃にかけて造られた、日本を代表する古墳の形式です。近畿地方で発生し、一方が方形（四角）、もう一方が円形を呈していることからその名がつけました。当時の首長の権力の大きさを示す象徴的な建造物です。
問2	答え 2 三国時代	3世紀の中国大陸では、魏、呉、蜀の三つの国が並び立ち、互いに勢力を争っていました。この時期を三国時代と呼び、日本の邪馬台国の女王・卑弥呼は、その中の一つである「魏」に使いを送り、金印や銅鏡を授かることで自らの権威を高めようとしていました。
問3	答え 3 中国の南朝	古墳時代の5世紀、ヤマト王権（倭国）の「讃・珍・済・興・武」という5人の王（倭の五王）は、当時の中国で南側に成立していた「南朝」の諸王朝（宋など）へ使節を送りました。これは、中国の皇帝から称号を得ることで、国内での支配権を固めるとともに、朝鮮半島における政治的・軍事的な立場を他国に対して有利に進める狙いがありました。
問4	答え 3 漢字	古墳時代に大陸の進んだ技術や文化を持った人々（渡来人）が日本列島へ移住した際、儒教や仏教とともに伝えられたのが漢字です。これにより、それまで文字を持たなかった日本において、出来事の記録や政治的な文書の作成が可能となりました。ひらがなやカタカナは、後にこの漢字を崩したり、一部を取ったりすることで日本独自の文字として発展したものです。
問5	答え 3 名称は前方後円墳であり、ヤマト王権の勢力が及んだ東北地方から九州地方にかけての広い範囲で見られる。	前方後円墳は、日本独自の古墳形式であり、その分布は北は東北地方から南は九州地方にまで及んでいます。これは、各地の豪族がヤマト王権を中心とする政治秩序に参加していたことを意味します。装飾古墳は内部に彩色や彫刻があるものを指し、円墳や方墳はより一般的な形状ですが、前方後円墳ほどの政治的象徴性は持ちません。また、古墳はあくまで豪族の墓であり、役所の目印ではありません。
問6	答え 2 渡来人	4世紀から6世紀にかけて、朝鮮半島の戦乱などを背景に、多くの人々が日本列島へ移住しました。彼らは渡来人と呼ばれ、大陸の高度な技術や文化を日本へもたらしました。彼らが伝えた漢字は、後の公文書作成の基礎となり、仏教の伝来は日本の文化や政治のあり方に大きな影響を与えました。
問7	答え 3 円形の後円部と方形の前方部を組み合わせた鍵穴のような形状の墳丘が、三重の濠に囲まれて配置されている。	古墳時代中期を代表する大山古墳（仁徳天皇陵）は、前方後円墳という日本独自の形式を持つ巨大な古墳です。地形図上では等高線によってその独特な「鍵穴型」が描かれ、さらに墳丘を保護するように三重の濠が巡らされていることが確認できます。また、周囲には「倍塚（ばいづか）」と呼ばれる、被葬者の親族や家臣を葬ったとされる小規模な古墳が点在しているのも、この地域の歴史的景観の大きな特徴です。
問8	答え 1 大陸の優れた土木技術、金属加工、文字の知識などを取り入れ、政権の支配力を強めるため	大和政権は、渡来人が持つ先進的な技術（鉄器製作、灌漑などの土木、織物）や知識（漢字による記録、儒教、仏教）を独占・管理することで、他の有力豪族に対して優位に立とうとしました。これらの技術は、巨大古墳の造営や農地の拡大、組織的な統治に欠かせないものでした。
問9	答え 1 関東地方の稲荷山古墳と九州地方の江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀に共通の王の名が見られることから、支配が九州から関東まで及んでいたと判断できる。	ヤマト政権の支配範囲が拡大したことを示す考古学的な証拠は、文字が刻まれた金属器の出土です。埼玉県の稲荷山古墳から出土した金錯銘鉄剣（きんさくめいてっけん）と、熊本県の江田船山古墳から出土した銀象嵌銘大刀（ぎんざうがんめいたち）には、ともに「ワカタケル大王」という名が刻まれていました。これは、地方の有力者がヤマト政権の大王に仕えていたことを示しており、当時の政権の勢力が九州から関東まで及んでいた確かな根拠となります。
問10	答え 4 大和政権の勢力は、九州北部から関東地方南部におよぶ広い範囲に広がっていた。	九州（熊本県）と関東（埼玉県）という、当時の交通手段では非常に遠く離れた2つの地点から同じ大王の名を記した刀剣が出土したことは、大和政権の支配力がその両地域にまで及んでいたことを客観的に証明するものです。一方で、この時代の支配が東北地方にまで及んでいたことを示す証拠は見つかっていないため、範囲の特定には注意が必要です。
問11	答え 1 高温で焼かれた、かたくて灰色の須恵器	渡来人は朝鮮半島から新しい技術をもたらしました。その一つとして、窯を用いて高温で焼き上げる、かたくて灰色の須恵器をつくる技術が伝えられました。
問12	答え 4 近畿地方の有力な豪族を中心とした、複数の勢力による政治連合が形成された。	3世紀後半から4世紀ごろになると、近畿地方の有力な豪族たちが中心となり、各地の勢力を結びつけた政治的な連合体が成立しました。これが大和政権（ヤマト王権）であり、その成立と発展は、各地に共通の形式を持つ巨大な古墳が築かれるようになったことから裏付けられます。弥生時代の小国が乱立し、争いを繰り返していた段階から、より広範な地域を統括する仕組みへと移行した重要な時期といえます。
問13	答え 3 日本国内の支配権に加え、朝鮮半島南部における軍事的な指揮権	5世紀になると、ヤマト王権の王たちは「倭の五王（讃・珍・済・興・武）」として中国の南朝に朝貢しました。彼らの主な目的は、日本国内の統一的な支配権を国際的に認めさせることだけでなく、当時進出を図っていた朝鮮半島南部における外交・軍事的な優位性を確保し、その立場を中国皇帝に正当化してもらうことにありました。

問1	3世紀ごろの中国大陆では、複数の勢力が対立して覇権を争っていました。この時期、日本の邪馬台国の女王である卑弥呼が使いを送り、「親魏倭王」の称号を授かったとされる国が含まれる時代の名称を選びなさい。 （2016年 和歌山県公立入試 類似）			
	1. 三国時代	2. 南北朝時代	3. 戦国時代	4. 五代十国時代
問2	4世紀から7世紀頃にかけて、朝鮮半島や中国大陆から日本列島へ移住し、漢字や儒教、仏教などの大陸文化や、優れた製作技術を伝えた人々を何と呼びますか。 （2021年 島根県公立入試 類似）			
	1. 御家人	2. 渡来人	3. 防人	4. 遣隋使
問3	巨大な前方後円墳が各地で盛んに造られていた古墳時代の5世紀ごろ、ヤマト王権の王たちは、自らの地位を国際的に認めさせるために中国の王朝へ使節を送りました。このとき、倭の五王が朝鮮半島での軍事的な指揮権などを認めてもらうために交渉を行った相手は、当時の中国のどの勢力ですか。 （2024年 栃木県公立入試 類似）			
	1. 漢	2. 唐	3. 中国の南朝	4. 隋
問4	4世紀末から5世紀頃、ヤマト王権は大和地方を中心に勢力を拡大しましたが、その過程で地方の有力な豪族に対し、権力の象徴である銅鏡などを与える政策をとりました。この行為の主な目的として、当時の政治状況から考えて最も適切なものはどれですか。 （2024年 山口県公立入試 類似）			
	1. 地方豪族に仏教を布教し、大陸の進んだ思想で精神的な統一を図るため	2. 全国の一様な税制を確立するために、度量衡の基準として鏡を配るため	3. 鉄製の武器を効率的に生産するための最新技術を、各地の豪族に共有するため	4. 地方豪族との政治的な結びつきを強め、自身の支配下に置くため
問5	大阪府の百舌鳥・古市古墳群に含まれる、三重の濠が巡らされた日本最大の前方後円墳の名称と、それが登録されているユネスコの区分の組み合わせとして正しいものを次から選びなさい。 （2020年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 大仙古墳（世界自然遺産）	2. 箸墓古墳（世界文化遺産）	3. 大仙古墳（世界文化遺産）	4. 五色塚古墳（世界文化遺産）
問6	5世紀初めから約1世紀の間にわたって行われた、ヤマト王権の外交活動に関する記述として正しいものはどれですか。 （2024年 山口県公立入試 類似）			
	1. 小野妹子が使者として派遣され、中国の皇帝に対して対等な形式の国書を渡した	2. 中国の魏の歴史書に、女王が金印を授かり親魏倭王の称号を得た記録が残されている	3. 唐へ渡った留学生たちが、帰国後に大化の改新の政治改革を主導する役割を担った	4. 中国の南朝の歴史書に、倭の五王と呼ばれる王たちが使者を送った記録が残されている
問7	大陸から漢字、儒教、仏教などが伝えられた時期の日本において、新たに生産が始まった須恵器の特徴とその背景について述べた説明として、正しいものはどれか。 （2023年 高知県公立入試 類似）			
	1. 弥生時代からの伝統的な製法を守り、稲作の普及とともに東日本を中心に広まった。	2. 朝鮮半島から来た渡来人が技術を伝え、山の斜面を利用した「登り窯」で高温で焼成された。	3. 国内の農民が独自に技術を開発し、「千歯こき」を用いて土を精製することで作られた。	4. 中国からの使者が技術を伝え、平らな地面に薪を積み上げる「野焼き」によって低温で焼成された。
問8	日本最大の前方後円墳である大仙古墳など、古墳時代の遺跡や出土品に関する説明として誤っているものを、次のうちから1つ選びなさい。 （2026年 徳島県公立入試 類似）			
	1. 古墳の周囲や墳丘には、素焼きの土器である埴輪が並べられた。	2. 女性の姿などをかたどった土偶が、魔よけや豊かな収穫を祈るために作られた。	3. 大仙古墳のように円形と方形を組み合わせた形状の古墳が造られた。	4. 豪族の権威を示すための副葬品として、銅鏡や鉄剣などが納められた。
問9	5世紀から6世紀にかけて、日本列島には大陸から多くの人々が移り住みました。この時期の遺跡である前方後円墳などからは、円筒埴輪や人物埴輪とともに、高温の窯で焼かれた硬くて灰色をした土器が出土しています。この土器の製作技術を日本に伝え、さらに文字や儒教、仏教といった高度な文化をもたらした人々を何と呼びますか。 （2015年 千葉県公立入試 類似）			
	1. 防人	2. 渡来人	3. 遣隋使	4. 語部
問10	4世紀ごろ、近畿地方の有力な豪族たちが中心となって組織した大和政権において、各地の豪族を従えていた最高権力者の称号は、当時何と呼ばれていましたか。 （2024年 熊本県公立入試 類似）			
	1. 天皇	2. 大王（おおきみ）	3. 将軍	4. 執権
問11	古墳時代、各地の有力者が巨大な墓を造りました。その中でも、上から見ると鍵穴のような独特の形（一方が四角形で、もう一方が円形）をした、日本独自の形式の古墳を何と呼びますか。 （2021年 鹿児島県公立入試 類似）			
	1. 円墳	2. 前方後円墳	3. 装飾古墳	4. 方墳
問12	滋賀県の高麗古墳群のように、この時期に築造された前方後円墳などの古墳文化は、当時の東アジア情勢と深く関わっています。4世紀末から5世紀にかけての、日本（倭）と朝鮮半島諸国との関係についての説明として正しいものを次から選びなさい。 （2024年 滋賀県公立入試 類似）			
	1. 日本は新羅と強固な同盟を結び、高句麗を滅ぼして朝鮮半島北部に領土を広げた	2. 高句麗の好太王（広開土王）の碑文には、倭が海を渡って百済や新羅を破り、高句麗と戦ったことが記されている	3. 当時の日本は聖徳太子を中心に、隋に対して「日出づる処の天子」で始まる国書を送ることに専念し、半島情勢には介入しなかった	4. 日本は高句麗と連合して百済を攻め、その見返りとして仏教の公伝を受けた
問13	古代、朝鮮半島や中国大陆から日本列島へ移り住み、高度な技術や文化を伝えた人々は、仏教とともに漢字を日本へ伝えました。この、大陸から移住して日本列島の文化や政治に大きな影響を与えた人々を何と呼びますか。 （2026年 神奈川県公立入試 類似）			
	1. 御家人	2. 渡来人	3. 防人	4. 遣隋使
問14	仏教が伝来し寺院が建立されるようになる以前の時代、各地の有力者が自らの権威を示すために築いた、土を高く盛り上げた巨大な墓を何といいますか。 （2022年 岡山県公立入試 類似）			
	1. 都	2. 古墳	3. 環濠集落	4. 貝塚

答え合わせ・解説

問1	答え 1 三国時代	3世紀の中国大陆では、魏、呉、蜀の三つの国が並び立ち、互いに勢力を争っていました。この時期を三国時代と呼び、日本の邪馬台国の女王・卑弥呼は、その中の一つである「魏」に使いを送り、金印や銅鏡を授かることで自らの権威を高めました。
問2	答え 2 渡来人	朝鮮半島での動乱などを背景に、優れた技術や知識を持つ人々が日本列島へ渡ってきました。彼らは大和政権に仕え、文字（漢字）の記録や外交、土木技術、金属工芸などの分野で重要な役割を果たし、日本の古代国家形成に大きな影響を与えました。
問3	答え 3 中国の南朝	古墳時代の5世紀、ヤマト王権（倭国）の「讃・珍・済・興・武」という5人の王（倭の五王）は、当時の中国で南側に成立していた「南朝」の諸王朝（宋など）へ使節を送りました。これは、中国の皇帝から称号を得ることで、国内での支配権を固めるとともに、朝鮮半島における政治的・軍事的な立場を他国に対して有利に進める狙いがありました。
問4	答え 4 地方豪族との政治的な結びつきを強め、自身の支配下に置くため	ヤマト王権は、近畿地方を拠点として各地の有力な豪族を従属させることで勢力を広げました。王権から豪族へ銅鏡などの貴重な品を分け与える行為は、王権への服従を誓わせる対価として、その地域での支配権を公式に認めるという意味合いを持っていました。これにより、武力による制圧だけでなく、政治的な主従関係による連合体のような支配体制を築いていきました。
問5	答え 3 大仙古墳（世界文化遺産）	5世紀の古墳時代中期に築造された大仙古墳は、全長約486メートルを誇る日本最大の古墳です。その圧倒的な規模と独特な形状は、当時のヤマト政権の強力な支配力を示すものと考えられています。2019年には、周辺の古墳とともに「百舌鳥・古市古墳群」としてユネスコの世界文化遺産に登録されました。
問6	答え 4 中国の南朝の歴史書に、倭の五王と呼ばれる王たちが使者を送った記録が残されている	5世紀、ヤマト王権は当時の中国の南朝（宋など）へ朝貢を行っていました。中国の歴史書には、讃・珍・済・興・武という5人の王が記録されており、彼らが軍事的な称号や政治的地位を求めていることが記されています。他の選択肢は、3世紀の邪馬台国、7世紀の遣隋使、あるいは7世紀以降の遣唐使に関する内容であり、時代背景が異なります。
問7	答え 2 朝鮮半島から来た渡来人が技術を伝え、山の斜面を利用した「登り窯」で高温で焼成された。	須恵器の生産は、大陸からの高度な技術移転の象徴です。それまでの土器が赤褐色で比較的脆かったのに対し、熱効率の良い「登り窯」を使用することで酸素を制限した還元炎焼成が可能となり、硬質の青灰色の土器が誕生しました。同時期には文字（漢字）の使用や学問（儒教）も伝えられており、大陸との交流が当時の社会制度や技術を大きく発展させたことがわかります。選択肢にある「千歯こき」は江戸時代の農具であり、時代が異なります。
問8	答え 2 女性の姿などをかたどった土偶が、魔よけや豊かな収穫を祈るために作られた。	土偶は縄文時代に作られたものであり、古墳時代のものではありません。古墳時代には、古墳の周囲に埴輪が立てられ、内部には副葬品として銅鏡や鉄剣などが納められました。
問9	答え 2 渡来人	5世紀から6世紀の古墳時代、朝鮮半島からの移住者である渡来人は、それまでの日本になかった高度な技術や文化を伝えました。土器においては、従来の土師器（はじき）とは異なる、穴窯を用いて1000度以上の高温で焼成する「須恵器（すえき）」の技術をもたらしました。また、漢字を用いた記録や、道徳的な教えである儒教、さらには6世紀に百済から伝えられた仏教など、その後の日本の国家形成に不可欠な知識を普及させました。
問10	答え 2 大王（おおきみ）	古墳時代の大和政権（ヤマト王権）において、近畿地方を中心とした支配を広げた最高権力者は「大王」と呼ばれました。この称号は、7世紀後半ごろから「天皇」という言葉が定着するまで、中国の王朝との外交や国内の統治において用いられました。将軍や執権は武家政権の役職であり、時代の異なる用語です。
問11	答え 2 前方後円墳	3世紀後半から6世紀頃にかけて造られた、日本を代表する古墳の形式です。近畿地方で発生し、一方が方形（四角）、もう一方が円形を呈していることからその名がつけました。当時の首長の権力の大きさを示す象徴的な建造物です。
問12	答え 2 高句麗の好太王（広開土王）の碑文には、倭が海を渡って百済や新羅を破り、高句麗と戦ったことが記されている	当時の日本（倭）は、鉄資源の確保や先進文化の導入を求めて朝鮮半島南部への進出を図りました。高句麗にある好太王碑には、南下政策を進める高句麗と、百済や加羅を支援して戦った倭の軍勢についての記録が残されており、当時の激しい抗争の様子が裏付けています。
問13	答え 2 渡来人	4世紀から5世紀以降、朝鮮半島や中国大陆から日本列島へ移り住んだ人々は、土器の製作、織物、灌漑などの技術とともに、それまで日本にはなかった文字（漢字）や、精神的な教えである仏教をもたらしました。彼らはその知識や技術を活かし、古代国家の形成において重要な役割を果たしました。
問14	答え 2 古墳	古墳時代、各地の有力者（豪族）は土を高く盛り上げた巨大な「古墳」を築くことで、その勢力を誇示しました。しかし、飛鳥時代に仏教が伝来して寺院が建立されるようになると、有力者の権威を象徴する対象は古墳から寺院へと変化し、巨大な古墳は次第に造られなくなっていました。

問1 法隆寺などの寺院が建立され始めた時期、日本の歴史的背景における建築物の変遷について説明した文として最も適切なものはどれですか。

(2022年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 狩猟採集の生活から稲作を中心とする生活へ変化したことで、共同体の食料を保管するための高床倉庫が寺院へと発展した。 | 2. 律令制度の確立により、すべての有力者は墓造ることを禁止され、代わりに都へ移住することが義務付けられた。 | 3. キリスト教の伝来により、各地の有力者は伝統的な墓の形式を捨て、教会を模した石造りの建築物を好むようになった。 | 4. 仏教の伝来にともない、それまで権威の象徴であった有力者の巨大な墓に代わって、寺院が建立されるようになった。 |
|---|--|---|--|

問2 4世紀ごろから大和政権と密接な関係を築き、朝鮮半島の南西部に位置していた国を何といいますか。この国は、五経博士による儒教の伝達や、日本への仏教伝来など、大陸文化を日本へ伝える窓口としての役割を果たしました。

(2020年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|------|--------|-------|-------|
| 1. 魏 | 2. 高句麗 | 3. 百済 | 4. 新羅 |
|------|--------|-------|-------|

問3 古代の日本と朝鮮半島の国々との関係について、百済が大和政権に与えた影響を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。

熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------------------|--|--|---------------------------------------|
| 1. 大和政権と結びつき、仏教や儒教などの大陸文化を伝える窓口となった | 2. 日本に鉄資源を供給することを主な目的として、九州北部に軍事拠点を置いた | 3. 大和政権に対して、魏志倭人伝に記されたような金印を授与して冊封関係を結んだ | 4. 唐と結んで、朝鮮半島を初めて統一するための軍事的な支援を日本に求めた |
|-------------------------------------|--|--|---------------------------------------|

問4 4世紀から6世紀にかけて朝鮮半島などから日本列島へ移り住み、漢字や儒教、仏教のほか、機織り、土木、金属加工といった大陸の進んだ技術を伝えた人々を何と呼ぶか、最も適切なものを選びなさい。

(2024年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|--------|-------|--------|
| 1. 遣隋使 | 2. 渡来人 | 3. 防人 | 4. 御家人 |
|--------|--------|-------|--------|

問5 大陸から漢字、儒教、仏教などが伝えられた時期の日本において、新たに生産が始まった須恵器の特徴とその背景について述べた説明として、正しいものはどれか。

(2023年 高知県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 中国からの使者が技術を伝え、平らな地面に薪を積み上げる「野焼き」によって低温で焼成された。 | 2. 朝鮮半島から来た渡来人が技術を伝え、山の斜面を利用した「登り窯」で高温で焼成された。 | 3. 国内の農民が独自に技術を開発し、「千歯こき」を用いて土を精製することで作られた。 | 4. 弥生時代からの伝統的な製法を守り、稲作の普及とともに東日本を中心に広まった。 |
|--|---|---|---|

問6 古墳時代の文化において、古墳の頂上や周囲を囲むように並べられた、円筒の形や人間、家などの形を模した土製の焼き物を何といいますか。

(2024年 三重県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|-------|-------|--------|
| 1. 銅鐸 | 2. 土偶 | 3. 埴輪 | 4. 須恵器 |
|-------|-------|-------|--------|

問7 4世紀から7世紀頃にかけて朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移住した人々は、それまでの土器とは異なる、黒っぽくて硬い「須恵器」の製作技術や、文字としての「漢字」などを伝えました。このような人々を何と呼びますか。

(2026年 山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|--------|--------|--------|
| 1. 防人 | 2. 弥生人 | 3. 渡来人 | 4. 縄文人 |
|-------|--------|--------|--------|

問8 5世紀の日本において、大和政権が広範囲を支配していたことを示す証拠として、埼玉県の稲荷山古墳から出土した鉄剣があります。この鉄剣には表面に金象嵌（きんぞうがん）で文字が刻まれており、そこに見られる、当時の大和政権の王を指す名称として正しいものを選びなさい。

(2014年 和歌山県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|--------|------------|----------|
| 1. 聖徳太子 | 2. 卑弥呼 | 3. ワカタケル大王 | 4. 中大兄皇子 |
|---------|--------|------------|----------|

問9 5世紀後半の日本列島において、大和政権の支配力が関東地方から九州地方にまで広く及んでいたことを示す歴史的背景として、最も適切な説明を選びなさい。

(2019年 長崎県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 埼玉県の稲荷山古墳と熊本県の江田船山古墳から、同一の最高権力者である大王の名を刻んだ鉄剣・鉄刀が出土した。 | 2. 白村江の戦いでの敗北を機に、関東から九州にかけて山城や防人が配置され、軍事的な中央集権化が進んだ。 | 3. 邪馬台国の女王である卑弥呼が魏から贈られた親魏倭王の称号を、地方の有力豪族に分け与えて統治した。 | 4. 聖徳太子が十七条の憲法を制定し、地方の豪族に対して大王への忠誠を誓わせる制度が全国に普及した。 |
|--|--|---|--|

問10 古墳時代の中期から後期にかけて、大陸から伝わった技術や思想が当時の日本に与えた影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。

(2015年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 大陸から青銅器の製作技術が伝わり、農耕の収穫を祝うための祭りの道具として普及した。 | 2. 穴窯を用いた高温焼成による須恵器の製作や、儒教・仏教といった新しい思想が導入された。 | 3. 日本独自の文字である「かな文字」が考案され、古今和歌集のような優れた文学作品が生まれた。 | 4. 律令国家の仕組みを確立するため、国家の成り立ちを記した日本書紀などの歴史書が作成された。 |
|--|---|---|---|

問11 4世紀から5世紀にかけて、近畿地方を中心に誕生した「前方が方形で後方が円形」という特徴を持つ巨大な墳墓が、九州から東北地方まで広く分布するようになった歴史的背景について述べたものとして、最も適切な説明を選択してください。

(2019年 富山県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 各地の豪族が、ヤマト王権に対抗するために独自に巨大な墳墓を築くことを競い合ったため | 2. 仏教の伝来によって、全国の豪族が共通の形式で墓を作る宗教的義務を負ったため | 3. ヤマト王権の支配力や政治的な影響力が、近畿地方から日本各地へと拡大したため | 4. 大陸から渡来した人々が、自分たちの故郷で一般的だった墓の形を全国に広めたため |
|--|--|--|---|

問12 古墳時代に、前方後円墳という特定の形式が日本各地の有力者の墓として採用されたことは、当時の政治状況においてどのようなことを意味していますか。

(2018年 長崎県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 各地の豪族が独自の宗教観に基づき、異なる形式の墓を競って造ったこと | 2. 近畿地方のヤマト政権（大和朝廷）の影響力が各地に及んでいたこと | 3. 大陸から伝来した仏教に基づき、全国一斉に寺院の建立が始まったこと | 4. 狩猟・採集中心の生活から、稲作を中心とする社会へ移行し始めたこと |
|--------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|

問13 5世紀頃、大阪府堺市に築かれた大仙古墳（大仙陵古墳）のような巨大な前方後円墳が造られた歴史的な背景を説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。

(2018年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 律令制度が確立し、戸籍に基づいて全国の民衆が大規模な土木作業に動員できるようになった。 | 2. 稲作が普及し、食料を貯蔵するための大規模な高床倉庫と一体化した墓が求められた。 | 3. 仏教の伝来とともに寺院建築の技術が導入され、それが大規模な墳墓の造成に利用された。 | 4. 「大王」と呼ばれる首長を中心とした大和政権（ヤマト王権）の権力が強化された。 |
|--|--|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 仏教の伝来にともない、それまで権威の象徴であった有力者の巨大な墓に代わって、寺院が建立されるようになった。	古墳時代から飛鳥時代にかけて、支配者の権力を誇示する方法に大きな変化が生じました。大陸から伝わった仏教を政治に取り入れる動きが強まる中で、それまでの伝統的な古墳（墓）に代わり、高度な技術を用いた寺院を建立することが有力者の新たな権威の象徴となりました。法隆寺などの建立はこの歴史的な流れを反映しています。
問2	答え 3 百済	朝鮮半島の南西部に位置した百済は、半島の主導権争いの中で大和政権と友好関係を深めました。この交流を通じて、漢字、儒教、仏教といった高度な大陸文化が日本に導入され、日本の古代国家の形成に大きな影響を与えました。
問3	答え 1 大和政権と結びつき、仏教や儒教などの大陸文化を伝える窓口となった	百済は朝鮮半島における軍事的緊張の中で大和政権と結びつき、その見返りとして先進的な技術や文化を日本へ伝えました。特に6世紀の聖明王による仏教の伝来は、その後の飛鳥文化の発展につながる歴史的な転換点となりました。他の選択肢にある半島統一は新羅の役割であり、金印の授与は中国の王朝との関係です。
問4	答え 2 渡来人	4世紀から6世紀にかけて、朝鮮半島の戦乱などを背景に、多くの人々が日本列島へ移住しました。彼らは渡来人と呼ばれ、大陸の高度な技術や文化を日本へもたらしました。彼らが伝えた漢字は、後の公文書作成の基礎となり、仏教の伝来は日本の文化や政治のあり方に大きな影響を与えました。
問5	答え 2 朝鮮半島から来た渡来人が技術を伝え、山の斜面を利用した「登り窯」で高温で焼成された。	須恵器の生産は、大陸からの高度な技術移転の象徴です。それまでの土器が赤褐色で比較的脆かったのに対し、熱効率の良い「登り窯」を使用することで酸素を制限した還元炎焼成が可能となり、硬質の青灰色の土器が誕生しました。同時期には文字（漢字）の使用や学問（儒教）も伝えられており、大陸との交流が当時の社会制度や技術を大きく発展させたことがわかります。選択肢にある「千歯こき」は江戸時代の農具であり、時代が異なります。
問6	答え 3 埴輪	古墳の周囲や墳丘の上に立て並べられた焼き物を埴輪と呼びます。縄文時代に魔除けや豊かな収穫を祈って作られた「土偶」と混同されやすいですが、埴輪は古墳時代特有のもので、初期は円筒形が中心でしたが、次第に家、盾、人物、動物などの形をしたものが作られるようになりました。
問7	答え 3 渡来人	4世紀から7世紀にかけて、大陸の戦乱を避けるなどの理由で日本列島に移り住んだ人々は、当時の日本にはなかった高度な技術や文化を伝えました。彼らが伝えた須恵器は、高温で焼くことができる穴窯（あながま）の技術を用いたもので、それまでの赤褐色の土器よりも硬い性質を持っていました。また、漢字の伝来は、その後の大和政権による記録や行政の仕組みを支える基盤となりました。
問8	答え 3 ワカタケル大王	埼玉県の稲荷山古墳から出土した鉄剣には、金象嵌によって「獲加多支鹵（ワカタケル）大王」の名が刻まれています。この王は『日本書紀』や『古事記』に登場する雄略天皇にあたると考えられており、5世紀ごろの大和政権の強力な支配力を示す重要な史料となっています。
問9	答え 1 埼玉県の稲荷山古墳と熊本県の江田船山古墳から、同一の最高権力者である大王の名を刻んだ鉄剣・鉄刀が出土した。	埼玉県の稲荷山古墳で出土した鉄剣には「獲加多支鹵大王（ワカタケルオオキミ）」という文字が刻まれていました。同様の銘文を持つ鉄刀が熊本県の江田船山古墳からも見つかったことから、5世紀後半には近畿地方の大和政権が、関東から九州に至るまでの広い範囲を勢力下に置いていたことが実証されています。
問10	答え 2 穴窯を用いた高温焼成による須恵器の製作や、儒教・仏教といった新しい思想が導入された。	渡来人によってもたらされた技術は多岐にわたります。実生活では、灰色の硬い土器である「須恵器」が作られるようになり、精神面や政治面では、国家の統治原理にもつながる「儒教」や、後に鎮護国家の思想へと発展する「仏教」が伝えられました。他の選択肢にある「かな文字」や「古今和歌集」は平安時代、「青銅器の祭器化」は主に弥生時代、「日本書紀」の完成は奈良時代の出来事であり、時期や内容が異なります。
問11	答え 3 ヤマト王権の支配力や政治的な影響力が、近畿地方から日本各地へと拡大したため	同一形式の巨大な墳墓が広範囲に分布している事実は、中央のヤマト王権と地方の豪族との間に、身分秩序を伴う政治的な結びつきがあったことを示しています。ヤマト王権が各地の豪族を自らの支配体制に組み込んでいく過程で、王権の権威の象徴であるこの形式の古墳が各地で築かれるようになりました。
問12	答え 2 近畿地方のヤマト政権（大和朝廷）の影響力が各地に及んでいたこと	鍵穴のような特有の形状が標準化され、各地で模倣されたことは、その地域の有力者が近畿のヤマト政権と政治的な同盟関係や主従関係を結んでいたことを示しています。これにより、ヤマト政権を中心とした政治体制が広まっていたことがわかります。
問13	答え 4 「大王」と呼ばれる首長を中心とした大和政権（ヤマト王権）の権力が強大化した。	巨大な古墳の築造には、膨大な労働力と長い年月が必要です。大仙古墳のような大規模な墳墓は、近畿地方の有力な豪族を中心としたヤマト王権が、広範囲の民衆を動員し、多くの資材を集中させることができるほどの強力な政治支配力を確立していたことを裏付けています。

問1	5世紀の日本において、大和政権が広範囲を支配していたことを示す証拠として、埼玉県の稲荷山古墳から出土した鉄剣があります。この鉄剣には表面に金象嵌（きんぞうがん）で文字が刻まれており、そこに見られる、当時の大和政権の王を指す名称として正しいものを選びなさい。 （2014年 和歌山県公立入試 類似）			
	1. 中大兄皇子	2. 聖徳太子	3. ワカタケル大王	4. 卑弥呼
問2	古墳時代の前期において、同じ鋳型（いがた）で作られた「三角縁神獣鏡」などの銅鏡が、遠く離れた各地の有力者の古墳から共通して発見されています。このような現象は、当時の日本（倭）におけるどのような政治的状況を物語っていますか。 （2016年 高山県公立入試 類似）			
	1. 仏教が伝来したことで、全国の有力者が同じ教義を信じ、同じ意匠の鏡を自ら作成した状況	2. 大陸の王朝が日本全土を直接統治しており、各地の役所に同じ規格の鏡を配布した状況	3. 日本各地の村々が独自に大陸と貿易を行い、流行していた同じデザインの鏡を輸入した状況	4. 大和政権が、支配下に入った各地の有力者に対して支配や同盟の証として鏡を配付した状況
問3	埼玉県の稲荷山古墳から見つかった「ワカタケル大王」の銘文がある鉄剣と、熊本県の江田船山古墳から見つかった同様の銘文がある鉄刀は、5世紀後半の日本列島の政治状況についてどのようなことを物語っていますか。最も適切な説明を選んでください。 （2016年 三重県公立入試 類似）			
	1. 大陸との交易はすべて関東地方の豪族が独占しており、鉄器の製造技術を独占していたこと	2. 関東地方と九州地方の有力な豪族が連合し、近畿地方のヤマト政権と対立していたこと	3. 日本列島は各地の豪族によって完全に分割統治されており、中央集権的な組織は存在しなかったこと	4. ヤマト政権の政治的な影響力が、九州から関東地方に及ぶほど広範囲に拡大していたこと
問4	3世紀後半から古墳時代にかけて造られた、円形の後円部と方形（四角形）の前方部を組み合わせた、上空から見ると鍵穴のような形をしている古墳の名称を答えなさい。 （2018年 長崎県公立入試 類似）			
	1. 前方後円墳	2. 円墳	3. 方墳	4. 積石塚
問5	4世紀から7世紀頃にかけて、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移住し、鉄器の製作、須恵器の生産、さらには漢字や仏教などの高度な技術や文化を伝えた人々を何と呼ぶか、最も適切なものを選びなさい。 （2017年 徳島県公立入試 類似）			
	1. 渡来人	2. 弥生人	3. 遣唐使	4. 防人
問6	5世紀の日本において、倭の五王と呼ばれる王たちが中国の南朝へ繰り返し使節を送った目的として、最も適切な説明はどれですか。 （2017年 長野県公立入試 類似）			
	1. 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に勝利するための軍事同盟を、中国の王朝と結ぶため	2. 中国皇帝から王としての国際的な地位を認められ、朝鮮半島南部での立場を有利にするため	3. 沿岸部で活動し周辺諸国を苦しめていた倭寇を取り締まるよう、中国から要請を受けたため	4. 平城京を造営するためのモデルとして、中国の都の仕組みを詳しく調査するため
問7	2019年に「百舌鳥・古市古墳群」の一部として世界文化遺産に登録された大仙陵古墳（仁徳天皇陵古墳）について、その形状と発見された遺物の組み合わせとして適切なものはどれですか。 （2020年 東京都公立入試 類似）			
	1. 形状：前方後円墳、遺物：人や動物の形をした埴輪	2. 形状：前方後円墳、遺物：大陸から伝わった陶磁器の破片	3. 形状：円墳、遺物：青銅で作られた大型の銅鐸	4. 形状：方墳、遺物：死者の身分を示すための仏像
問8	5世紀ごろ、朝鮮半島における勢力争いや戦乱を避けて日本列島へ移住し、須恵器の製作や金属加工、土木などの高度な技術、および漢字や儒教を伝えた人々を何と呼びますか。 （2026年 高知県公立入試 類似）			
	1. 防人	2. 倭寇	3. 朝鮮通信使	4. 渡来人
問9	古墳時代から奈良時代にかけて、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移り住み、当時の日本に新しい文化や技術を伝えた人々を何と呼びますか。 （2023年 岡山県公立入試 類似）			
	1. 防人	2. 遣唐使	3. 南蛮人	4. 渡来人
問10	大阪府堺市に位置する大仙古墳（仁徳天皇陵古墳）が属しており、周辺の古墳とともに2019年に世界文化遺産に登録された古墳群の名称として正しいものはどれか。 （2020年 三重県公立入試 類似）			
	1. 吉野ケ里遺跡群	2. 登呂遺跡群	3. 三内丸山遺跡群	4. 百舌鳥・古市古墳群
問11	大和政権の性格について、それ以前の弥生時代の社会状況と比較した説明として、最もふさわしいものはどれか。 （2025年 秋田県公立入試 類似）			
	1. 大陸からの渡来人によってもたらされた仏教と文字を政治の基盤として、中央集権的な国家を完成させた。	2. 特定の女王がまじないなどの呪術的な力を用いて、各地の小国完全に服従させ、争いを根絶した。	3. 近畿地方の豪族が中心となり、各地の有力な勢力と連合することで広域的な政治支配をめざした。	4. 銅鐸を用いた共通の祭祀を通じて、各地の小国が独立性を保ったまま、利害関係のない経済圏を築いた。
問12	5世紀ごろ、大和政権（ヤマト王権）の支配が関東地方や九州地方まで及んでいたことを示す歴史資料があります。埼玉県の稲荷山古墳や熊本県の江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀に、その名が刻まれていた人物として正しいものを選びなさい。 （2019年 愛媛県公立入試 類似）			
	1. 卑弥呼	2. 聖徳太子	3. 中大兄皇子	4. ワカタケル大王
問13	埼玉県の稲荷山古墳から「ワカタケル大王」の名が刻まれた鉄剣が出土し、また熊本県の江田船山古墳からも同じ大王の名が刻まれた大刀が出土しました。これらの史料から推測できる、5世紀後半の日本列島の状況として最も適切な説明を選びなさい。 （2024年 大阪府公立入試 類似）			
	1. ヤマト政権の政治的な支配力が、関東地方から九州地方まで及んでいた。	2. 各地域の豪族が独自に強力な軍隊を持ち、ヤマト政権と激しく対立していた。	3. 仏教の教えが全国に広まり、各地の豪族が鉄剣を寺院に奉納していた。	4. 稲作の技術が伝わったことで、日本列島各地で小国家の統一が始まった。
問14	5世紀の日本各地における古墳の分布状況を見ると、近畿地方で誕生した特定の形式の古墳が、九州から東北地方までの広い範囲に築造されていることが分かります。この歴史的背景について説明した文として、最も適切なものはどれか。 （2016年 神奈川県公立入試 類似）			
	1. 狩猟・採集の生活から、堅穴住居に住む定住生活へと変化した	2. 墾田永年私財法の施行により、地方の有力者が荘園を形成した	3. 大和政権の支配や政治的なつながりが各地に広がった	4. 仏教の影響により、全国各地で国分寺が建立されるようになった

答え合わせ・解説

問1	答え 3 ワカタケル大王	埼玉県の稲荷山古墳から出土した鉄剣には、金象嵌によって「獲加多支鹵（ワカタケル）大王」の名が刻まれています。この王は『日本書紀』や『古事記』に登場する雄略天皇にあたると考えられており、5世紀ごろの大和政権の強力な支配力を示す重要な史料となっています。
問2	答え 4 大和政権が、支配下に入った各地の有力者に対して支配や同盟の証として鏡を配付した状況	同じ型から作られた鏡が広範囲で見つかることは、中央の大和政権が中国から入手、あるいは国内で製造した鏡を、自らの権威を認めた地方の有力者に分け与えたことを示唆しています。これにより、大和政権を中心とした政治的な連合や支配体制が、近畿地方から遠隔地へと広がっていった背景を読み取ることができます。
問3	答え 4 ヤマト政権の政治的な影響力が、九州から関東地方に及ぶほど広範囲に拡大していたこと	遠く離れた埼玉県（稲荷山古墳）と熊本県（江田船山古墳）の両方から、同一の首長（ワカタケル大王）に仕えていたことを示す遺物が見つかったことは、当時のヤマト政権の権威や支配体制が、近畿地方を中心に九州から関東にまで広く浸透していたことを示しています。これは、日本列島における統一国家形成の過程を理解する上で非常に重要な事実です。
問4	答え 1 前方後円墳	古墳時代を代表する墓の形式であり、円形と方形を組み合わせた独特の形状が特徴です。当時の有力者の権力の大きさを示す象徴として、近畿地方を中心に全国各地へ広がりました。
問5	答え 1 渡来人	4世紀以降、大陸での戦乱などを背景に、朝鮮半島や中国大陸から優れた技術や知識を持つ人々が日本列島へ移り住みました。彼らは金属加工や土木技術、機織りなどの実用的な技術だけでなく、漢字や儒教、仏教といった学問・宗教も伝え、古代日本の文化や政治の発展に大きな役割を果たしました。
問6	答え 2 中国皇帝から王としての国際的な地位を認められ、朝鮮半島南部での立場を有利にするため	5世紀の古墳時代、倭の五王は中国の南朝に朝貢しました。当時の倭の王は、大陸の強大な王朝から「倭王」としての称号（冊封）を得ることで、自身の権威を国内外に示すとともに、鉄資源の供給地として重要だった朝鮮半島南部における外交的・軍事的な優位性を確保しようと考えました。
問7	答え 1 形状：前方後円墳、遺物：人や動物の形をした埴輪	大仙陵古墳は、円形と方形を組み合わせた日本最大の方後円墳です。この古墳からは、円筒埴輪だけでなく、当時の衣服や武具の様子を知る手がかりとなる家・人間・動物などをかたどった「形象埴輪」が発見されています。銅鐸は主に弥生時代の祭祀に使われたものであり、仏像は後の飛鳥時代以降に本格的に伝来したものであるため、古墳時代の特徴としては埴輪が最も適切です。
問8	答え 4 渡来人	4世紀から5世紀にかけての朝鮮半島では、高句麗・百済・新羅の三つの国が勢力を争う不安定な情勢にありました。この動乱を逃れて日本に渡ってきた人々は、大和政権に仕えて特定の技術を持つ集団として組織され、それまでの日本にはなかった最新の技術や文化を広める重要な役割を果たしました。これにより、日本の生産力や政治的な組織化が大きく進みました。
問9	答え 4 渡来人	朝鮮半島での戦乱などを背景に、多くの人々が日本列島へ移住しました。彼らは、ため池を作る土木技術や金属加工、機織りなどの実習的な技術だけでなく、漢字や儒教、仏教などの思想や文化も日本に伝え、日本の社会や国家の形成に大きな役割を果たしました。
問10	答え 4 百舌鳥・古市古墳群	大仙古墳は、大阪府堺市の「百舌鳥（もず）古墳群」を代表する古墳です。隣接する羽曳野市・藤井寺市の「古市（ふるいち）古墳群」とともに、古代日本の国家形成過程や階層社会を象徴する物証として評価され、「百舌鳥・古市古墳群―古代日本の墳墓群―」として世界文化遺産に登録されました。
問11	答え 3 近畿地方の豪族が中心となり、各地の有力な勢力と連合することで広域的な政治支配をめざした。	大和政権は、近畿地方の有力豪族が連合して形成された政治組織です。これは、小国が独立して割拠していた弥生時代の状態や、単一の強力な王が全国を直接支配する形態とは異なります。複数の有力な勢力が「連合」という形で結びつくことで、大規模な土木作業が必要な古墳の築造や、対外的な交渉が可能になるほどの広域的な統治体制を整えていったことが大きな特徴です。選択肢にある銅鐸の祭祀や『魏志』倭人伝の記述は、大和政権が成立する以前の弥生時代の特色を指しています。
問12	答え 4 ワカタケル大王	埼玉県の稲荷山古墳や熊本県の江田船山古墳から出土した文字が刻まれた鉄剣・鉄刀には、大和政権の「ワカタケル大王」という名が記されていました。同一人物の名が刻まれた遺物が関東と九州の双方で見つかったことは、5世紀後半には大和政権の支配力が日本列島の広範囲に及んでいたことを証明する重要な根拠となっています。
問13	答え 1 ヤマト政権の政治的な支配力が、関東地方から九州地方まで及んでいた。	遠く離れた関東（埼玉県）と九州（熊本県）の両地域から、同一の大王の名を刻んだ刀剣が見つかったことは、当時のヤマト政権が広範囲の豪族を服属させ、統治下に置いていたことを示す重要な歴史的証拠となっています。単なる交易の証拠ではなく、地方の豪族が大王に仕えていたという政治的な背景を裏付けています。
問14	答え 3 大和政権の支配や政治的なつながりが各地に広がった	近畿地方の大王（後の天皇）を中心とする大和政権が、各地の豪族と政治的な同盟や支配関係を結んだことで、勢力の象徴である前方後円墳という同じ形式の古墳が共有されるようになりました。国分寺は8世紀の奈良時代、荘園の拡大は平安時代以降、堅穴住居は縄文・弥生時代からの住居形式であり、5世紀の古墳時代の動向を説明するものではありません。

- 問1 古墳時代の大和政権において、朝鮮半島や中国から渡来した人々（渡来人）が果たした役割や、彼らがもたらした文化的な影響について述べた文として正しいものはどれですか。（2024年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 狩猟や採集に代わる新しい生活様式として、磨製石器の製作技術を広めた | 2. 稲作を初めて日本に伝え、各地に高床倉庫を持つ集落を形成させた | 3. 大和政権で外交や財政管理に従事し、仏教などの新しい文化や技術を伝えた | 4. 銅鐸や銅剣などの青銅器を用いた祭祀を広め、巨大な前方後円墳を築いた |
|--------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|
- 問2 5世紀ごろ、現在の大阪府や奈良県を中心とした勢力であるヤマト王権が、九州から関東地方に至る広い範囲に影響力を及ぼしていたことが、各地の出土品から判明しています。埼玉県にある稲荷山古墳から出土した鉄剣には、当時のヤマト王権の首長を指すどのような称号が刻まれていますか。（2015年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 大王 | 2. 天皇 | 3. 将軍 | 4. 執権 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問3 5世紀のヤマト王権の有力者たちは、当時の中国において、政治的な正当性や朝鮮半島での軍事的な立場を認めてもらうために使者を派遣しました。このとき、ヤマト王権が朝貢を行った中国の王朝の総称として正しいものを選択してください。（2024年 三重県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|------|-------|------|
| 1. 南朝 | 2. 隋 | 3. 北朝 | 4. 唐 |
|-------|------|-------|------|
- 問4 4世紀から6世紀にかけて朝鮮半島などから日本列島へ移り住み、漢字や儒教、仏教のほか、機織り、土木、金属加工といった大陸の進んだ技術を伝えた人々を何と呼ぶか、最も適切なものを選びなさい。（2024年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|-------|--------|--------|
| 1. 遣隋使 | 2. 防人 | 3. 御家人 | 4. 渡来人 |
|--------|-------|--------|--------|
- 問5 3世紀後半から古墳時代にかけて造られた、円形の後円部と方形（四角形）の前方部を組み合わせた、上空から見ると鍵穴のような形をしている古墳の名称を答えなさい。（2018年 長崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|-------|--------|----------|
| 1. 方墳 | 2. 円墳 | 3. 積石塚 | 4. 前方後円墳 |
|-------|-------|--------|----------|
- 問6 古墳時代の展示において、当時の有力者の墓である古墳の内部に納められた「副葬品」が紹介されています。これらの中で、被葬者の権力や権威を示すとともに、当時の中国大陸との活発な交流を裏付ける代表的な資料として、最も適切なものはどれですか。（2016年 富山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 弥生時代に主に近畿地方を中心に広まり、祭祀の道具として使われた青銅器の銅鐸 | 2. 古墳の墳丘の頂上や周囲に並べられ、聖域を区切る役割を持っていた人や馬の形の埴輪 | 3. 大陸との外交関係や支配者の権威を示すために墓に納められた、三角縁神獣鏡などの銅鏡 | 4. 魔除けや豊かな収穫を祈る儀式に用いられた、縄文時代の土製の人形である土偶 |
|--|--|---|---|
- 問7 4世紀から7世紀頃、大陸から日本列島へ移住した人々が古墳時代の成長や社会の発展に与えた影響として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 遣隋使や遣唐使として大陸に派遣され、最新の政治制度を学んで帰国した後に律令国家の建設を主導した。 | 2. 九州沿岸の警備にあたる防人として任命され、大陸からの侵攻を防ぐ軍事的な役割を専門に担った。 | 3. 須恵器の製作技術や漢字、仏教などを伝え、政権の組織づくりや文化の発展に大きく貢献した。 | 4. 稲作の技術を初めて日本に伝え、狩猟や採集を中心とした社会から定住社会への転換を促した。 |
|---|--|--|--|
- 問8 5世紀ごろに造られた大仙古墳のような巨大な前方後円墳について、このような大規模な墳墓が築かれた歴史的な背景として最も適切な説明はどれか。（2020年 三重県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 各地域の小国が、他国からの侵略を防ぐための軍事的な要塞として築いたため。 | 2. ヤマト政権の大王が、膨大な労働力を動員できるほどの強大な権力を持っていたことを示すため。 | 3. 大陸から伝わった稲作の技術を普及させるために、神を祀る祭祀場を各地に作ったため。 | 4. 仏教の伝来とともに、死者を弔うために巨大な寺院を建てる習慣が広まったため。 |
|---|---|---|--|
- 問9 古墳時代の日本（倭）が朝鮮半島や中国大陸の諸王朝と活発に交流していたことを示す証拠について、群馬県の綿貫観音山古墳などの出土品から読み取れる共通点として最も適切なものはどれですか。（2021年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 遣隋使が派遣されるまで大陸との交流は完全に途絶えており、仏教に関する文物のみが特例として見られる点 | 2. 縄文時代以来の伝統である大型の磨製石斧や、日本列島固有の黒曜石製品が大量に出土する点 | 3. 江戸時代の鎖国政策の影響により、大陸由来の文物が一切見られず、日本独自の土器のみが発達している点 | 4. 朝鮮半島の高句麗や百濟、新羅、加耶などの地域と共通する、銅製水瓶や馬具などの文物が確認される点 |
|--|---|---|--|
- 問10 大阪府堺市に位置し、三重の堀に囲まれた巨大な鍵穴のような形状を持つ、日本最大級の面積を誇る古墳の名称として正しいものを選びなさい。（2018年 長崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|--------------|----------|----------|
| 1. 江田船山古墳 | 2. 大仙（大仙陵）古墳 | 3. 高松塚古墳 | 4. 稲荷山古墳 |
|-----------|--------------|----------|----------|
- 問11 4世紀から6世紀ごろにかけて、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移り住み、当時の日本に欠けていた高度な技術や文化を伝えた人々を何と呼びますか。（2023年 新潟県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|--------|--------|--------|
| 1. 防人 | 2. 御家人 | 3. 渡来人 | 4. 遣隋使 |
|-------|--------|--------|--------|
- 問12 3世紀ごろの中国大陸の情勢と、当時の日本との関わりについて述べた文として、内容が正しいものを一つ選びなさい。（2016年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 唐が周辺諸国を従える強大な帝国を築いており、日本からは律令制度を学ぶために遣唐使が送られた。 | 2. 隋が南北に分裂していた中国を統一した時期であり、聖徳太子が小野妹子を派遣して交流を深めた。 | 3. 魏・呉・蜀の三つの国が分立して争っており、邪馬台国の卑弥呼はそのうちの魏に使いを送った。 | 4. 秦の王が初めて中国を統一して始皇帝と名乗り、日本を含む周辺地域に大規模な軍隊を派遣した。 |
|---|--|---|---|
- 問13 世界文化遺産にも登録されている、大阪府の「百舌鳥・古市古墳群」について述べた文として、正しいものはどれか。（2020年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 仏教が伝来した後に、聖徳太子の命令によって各地の寺院の隣に作られたものである。 | 2. すべて直径10メートル程度の小さな円墳のみで構成された、庶民のための墓地群である。 | 3. 東北地方から九州地方にかけての全国各地から、有力な豪族の遺骨を集めて埋葬した場所である。 | 4. 日本最大の面積を誇る大仙古墳（大山古墳）など、巨大な前方後円墳が含まれている。 |
|--|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 大和政権で外交や財政管理に従事し、仏教などの新しい文化や技術を伝えた	朝鮮半島や中国から日本に移り住んだ渡来人は、当時の先進的な知識を持っていたため、大和政権において外交文書の作成や財政の記録・管理といった重要な実務を担いました。彼らを通じて、6世紀の百済からの仏教伝来に代表されるような、大陸の新しい学問、宗教、技術が日本に定着し、国家の仕組みが整えられていきました。
問2	答え 1 大王	5世紀後半のヤマト王権（大和朝廷）の首長は「大王（おおきみ）」と呼ばれていました。埼玉県の稲荷山古墳や熊本県の江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀には、「ワカタケル大王」などの銘文が刻まれており、近畿地方を中心とするヤマト王権の支配が、既に関東から九州まで及んでいたことを示す重要な歴史的証拠となっています。
問3	答え 1 南朝	5世紀の中国は、華北を支配する北朝と、江南を支配する南朝に分かれて対立していました。地理的に南に位置する王朝と交流しやすかったヤマト王権は、南朝の諸王朝へ「倭の五王」と呼ばれる王たちが相次いで使者を送り、朝貢を行いました。
問4	答え 4 渡来人	4世紀から6世紀にかけて、朝鮮半島の戦乱などを背景に、多くの人々が日本列島へ移住しました。彼らは渡来人と呼ばれ、大陸の高度な技術や文化を日本へもたらしました。彼らが伝えた漢字は、後の公文書作成の基礎となり、仏教の伝来は日本の文化や政治のあり方に大きな影響を与えました。
問5	答え 4 前方後円墳	古墳時代を代表する墓の形式であり、円形と方形を組み合わせた独特の形状が特徴です。当時の有力者の権力の大きさを示す象徴として、近畿地方を中心に全国各地へ広がりました。
問6	答え 3 大陸との外交関係や支配者の権威を示すために墓に納められた、三角縁神獣鏡などの銅鏡	古墳時代、古墳に葬られた有力者は自らの権力を示すために、大陸由来の貴重な品々を副葬品として墓の中に納めました。特に三角縁神獣鏡などの銅鏡は、中国の王朝とのつながりや、それを入手できる大和政権との政治的な結びつきを示す重要な象徴でした。埴輪は古墳の表面や周囲に立て並べられるものであり、内部に埋葬される副葬品とは区別して理解する必要があります。
問7	答え 3 須恵器の製作技術や漢字、仏教などを伝え、政権の組織づくりや文化の発展に大きく貢献した。	移住した人々は、須恵器の製作、金属器の加工、養蚕、織物といった実用的な技術だけでなく、漢字や仏教、儒教といった学問や宗教も伝えました。これらの知識や技術は、大和政権が国内を統治するための公文書作成や、国家としての権威を高めるための寺院建築などに活用され、古代日本の国家形成において不可欠な役割を果たしました。なお、稲作の伝来は弥生時代、防人の制度は7世紀後半の白村江の戦い以降に本格化したものです。
問8	答え 2 ヤマト政権の大王が、膨大な労働力を動員できるほどの強大な権力を持っていたことを示すため。	大仙古墳のような巨大な前方後円墳の建設には、延べ数百万人とも言われる膨大な労働力と長い年月が必要でした。これほど大規模な墓を築くことができた事実には、被葬者である大王が近畿地方を中心として、広範囲にわたる民衆や地方の豪族を統制し、支配下に置いていたことを証明しています。
問9	答え 4 朝鮮半島の高句麗や百済、新羅、加耶などの地域と共通する、銅製水瓶や馬具などの文物が確認される点	古墳時代の日本列島は、地理的に近い朝鮮半島の高句麗・百済・新羅・加耶、および中国の南朝や北朝と活発な交流を持っていました。その具体的な証拠として、群馬県の綿貫観音山古墳をはじめとする各地の古墳から、大陸や半島の影響を強く受けた「銅製水瓶」や「馬具」などの文物が共通して出土しており、当時の国際的なネットワークの広がりを示しています。
問10	答え 2 大仙（大仙陵）古墳	堺市にあるこの古墳は、仁徳天皇の墓とも伝えられている日本最大の前方向後円墳です。三重の堀に囲まれたその巨大な規模は、当時の大王（おおきみ）が持っていた強大な権力を物語っています。
問11	答え 3 渡来人	朝鮮半島での戦乱を逃れるため、あるいは大和政権による招きに応じて日本列島にやってきた人々です。彼らは養蚕、機織り、金属加工、土木技術のほか、漢字や儒教、仏教といった学問や宗教も伝え、古代日本の国家形成に大きな影響を与えました。
問12	答え 3 魏・呉・蜀の三つの国が分立して争っており、邪馬台国の卑弥呼はそのうちの魏に使いを送った。	中国の歴史書『魏志』倭人伝には、3世紀の中国が魏・呉・蜀の三国に分かれて争っていたこと、そして日本の卑弥呼が魏の皇帝から称号を授けられたことが記されています。他の選択肢にある秦による統一は紀元前3世紀、隋による統一は6世紀末、唐との交流は7世紀以降の出来事であり、時期が異なります。
問13	答え 4 日本最大の面積を誇る大仙古墳（大山古墳）など、巨大な前方後円墳が含まれている。	百舌鳥・古市古墳群は、現在の大阪府堺市、羽曳野市、藤井寺市に広がる古墳群です。4世紀後半から5世紀後半にかけて、当時の王権（ヤマト政権）の王たちの墓として築かれました。